

平成 19 年 度

# 秋田県病院事業会計決算審査意見書

秋 田 県 監 査 委 員

監委 ——— 316  
平成20年9月3日

秋田県知事 寺田典城様

秋田県監査委員 金谷信栄  
秋田県監査委員 こだま祥子  
秋田県監査委員 大和顯治  
秋田県監査委員 菊地康男

平成19年度秋田県病院事業会計決算審査  
意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された  
平成19年度秋田県病院事業会計決算について審査した結果は、  
次のとおりです。

## 目 次

第1	審査の方法	-----	1
第2	審査の結果及び意見	-----	1
第3	決算の概要	-----	4
病院事業会計			
1	事業の概況	-----	4
2	予算及び決算の状況	-----	7
3	経営成績（損益計算書）	-----	8
4	剰余金計算書	-----	10
5	欠損金処理計算書	-----	10
6	財政状態（貸借対照表）	-----	10
（参考資料）			
1	比較損益計算書	-----	12
2	比較貸借対照表	-----	13
3	経営分析表	-----	14
〔脳血管研究センター〕			
1	事業の概況	-----	15
2	予算及び決算の状況	-----	17
3	経営成績（損益計算書）	-----	18
4	剰余金計算書	-----	20
5	欠損金処理計算書	-----	20
6	財政状態（貸借対照表）	-----	20
7	経営状況の全国比較	-----	21
（参考資料）			
1	比較損益計算書	-----	24
2	比較貸借対照表	-----	25
3	経営分析表	-----	26
〔リハビリテーション・精神医療センター〕			
1	事業の概況	-----	27
2	予算及び決算の状況	-----	29
3	経営成績（損益計算書）	-----	30
4	剰余金計算書	-----	31
5	欠損金処理計算書	-----	31
6	財政状態（貸借対照表）	-----	31
7	経営状況の全国比較	-----	32
（参考資料）			
1	比較損益計算書	-----	35
2	比較貸借対照表	-----	36
3	経営分析表	-----	37

# 平成19年度秋田県病院事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の方法

平成19年度病院事業会計（脳血管研究センター及びリハビリテーション・精神医療センター）の決算審査に当たっては、事業が経済性や公共性に配慮して運営されているか、決算書類が事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかなどについて、決算書類及び附属書類を調査し、関係者の説明を求め、計数の分析を行うとともに、定期監査と例月出納検査の結果も参考にした。

## 第2 審査の結果及び意見

### 1 決算書類について

審査に付された決算書類は、その調製手続及び計数に誤りがなく、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示していることを確認した。

### 2 経営状況について

#### (1) 経営成績について

平成19年度の経営成績は、収益総額74億2,116万円、費用総額76億3,411万円で、差引き2億1,294万円の純損失となっており、2年連続して赤字となった。

#### (2) 財政状態について

平成19年度末の財政状態は、資産総額197億7,600万円、負債総額9億4,248万円、資本総額188億3,353万円となっている。

前年度末に比較して、資産総額が9,771万円(0.5%)減少し、負債総額は4億7,736万円(102.6%)増加しており、資本総額は5億7,507万円(3.0%)減少している。

負債総額の増加は、コンピュータ断層撮影装置などの高額な医療機器購入代金等が未払金として計上され、未払金が前年度末と比較して4億5,516万円増加したことによるものである。

資本総額の減少は、企業債の一部償還により借入資本金の残高が3億9,042万円減少したこと及び欠損金が2億1,294万円増加したことによるものである。

剰余金は、3億1,496万円と前年度末に比べ1億8,464万円減

少しており、財政基盤の安定性を表す自己資本構成比率は29.4%で、前年度に比べて0.8ポイント低下しており、収益力の低迷により財政基盤の安定性はやや悪化している。

また、流動資産は45億3,577万円、流動負債は9億4,248万円で、正味運転資本は35億9,330万円と、前年度末より2億7,540万円(7.1%)減少しているが、支払能力を表す流動比率は100%を大きく超えており、財務の安全性は保たれている。

### 3 改善を要する事項

両病院においては、依然として多額の未収金を抱えていることから、今後はその解消に向け、法的措置を含めた実効性のある債権回収策を講ずるとともに、新たな未収金を発生させない仕組みをつくるなどの対策を着実に実施していくことが必要である。

リハビリテーション・精神医療センターにおいては、次のとおり不適切な事務処理が見られたので、改善することが必要である。

- (1) 診療報酬改定に伴うシステム改修業務委託契約において、成果品検査の期間を考慮しないで委託期間を定めたことにより、年度内に検査を終了することができなかった。このことに伴い、予算の繰越手続が必要となったにもかかわらず、これを行わずに会計処理しているので、今後は適正な事務処理を行うこと。
- (2) 医事業務委託契約のうち、受託者が行う診療報酬請求事務において、生活療養費の一部に請求漏れがあったので、今後は受託者に対して適正な業務の執行を求めるとともに、履行の確認を適切に行うこと。
- (3) 医療材料の搬送及び滅菌消毒業務委託において、変更契約時の積算誤りにより過払いとなっているので、所要の措置を講ずるとともに、今後は適切な処理を行うこと。

リハビリテーション・精神医療センターでは、昨年度の決算審査において、医療情報システムに関する不適正な事務処理についての改善を求めたところであるが、上記のような事態が見られるので、業務の進行管理の徹底やチェック体制の強化が必要である。

#### 4 要望事項

両病院の収支状況は、平成18年度以降いずれも赤字であり、近年その経営が一段と厳しさを増す中、県は質の高い医療の提供と自律的・効率的な業務運営を目指し、病院の地方独立行政法人への移行を検討しているところであるが、今後は、これまで以上に職員の経営に対する意識の改革を図るとともに、経営基盤を強化することにより高度専門医療の継続的な提供という役割を果たし、県民医療の向上に寄与することを要望する。

#### 5 付記事項

リハビリテーション・精神医療センターでは、医療情報システムの不具合や保守管理委託契約の一部不履行に伴う損害賠償等を契約相手方に求めているところであるが、今後、早期かつ合理的な解決が図られるよう、注視していく所存である。

### 第3 決算の概要

#### 病院事業会計

##### 1 事業の概況

平成19年度病院事業会計は、脳血管研究センター（6診療科、160床）及びリハビリテーション・精神医療センター（4診療科、300床）の2事業で構成されている。稼働病床数は、脳血管研究センターが120床、リハビリテーション・精神医療センターが300床の計420床となっている。両病院を合わせた事業の概況は、次のとおりである。

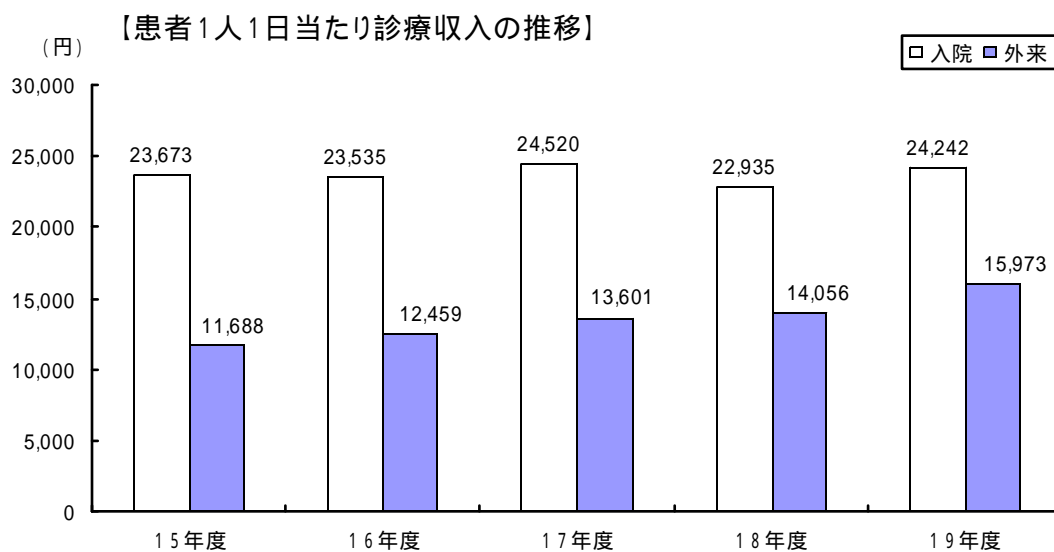
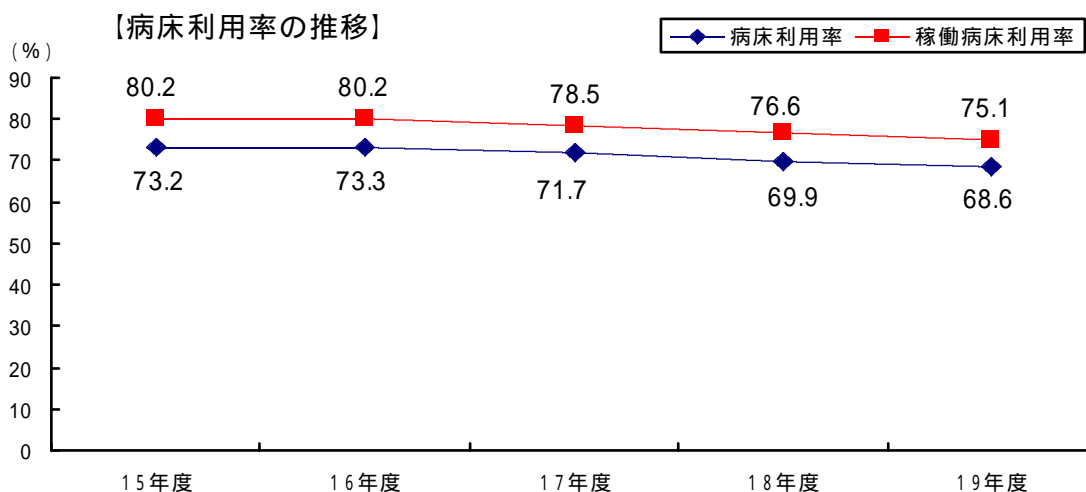
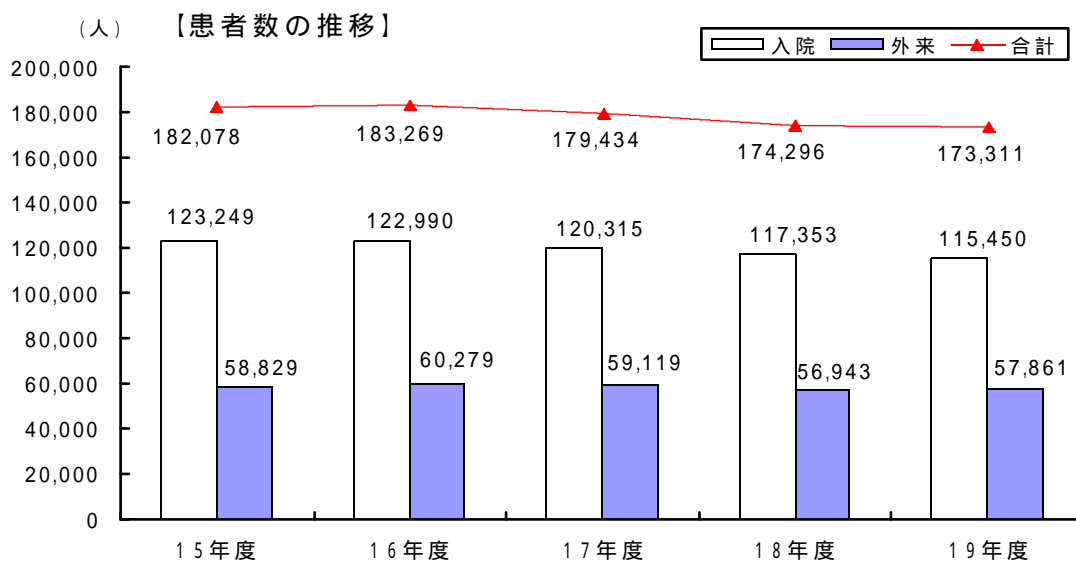
##### (1) 患者の利用状況等

平成19年度患者数は、入院患者が115,450人、外来患者が57,861人で、全体では173,311人となっている。前年度に比較し入院患者が1,903人（1.6%）の減少、外来患者が918人（1.6%）の増加で、全体では985人（0.6%）減少している。

病床利用率は68.6%で、前年度に比較し1.3ポイント低下している。なお、病床利用率を実際の稼働病床（420床）でみると75.1%（前年度76.6%）となっている。

患者1人1日当たり診療収入は、入院が24,242円、外来が15,973円で、前年度に比較し入院で1,307円（5.7%）増加、外来で1,917円（13.6%）増加している。

区 分	単位	平成19年度	平成18年度	対前年度比較		
		(A)	(B)	(A) - (B)	(A)/(B)(%)	
病 床 数	床	460	460	0	100.0	
うち稼働病床数	床	420	420	0	100.0	
患者延数	人	173,311	174,296	985	99.4	
	入院	人	115,450	117,353	1,903	98.4
	外来	人	57,861	56,943	918	101.6
1日平均患者数	入院	人	315.4	321.5	6.1	98.1
	外来	人	236.2	232.4	3.8	101.6
外来/入院患者比率	%		50.1	48.5	1.6	
病 床 利 用 率	%		68.6	69.9	1.3	
稼働病床利用率	%		75.1	76.6	1.5	
患者1人1日	入院	円	24,242	22,935	1,307	105.7
当たり診療収入	外来	円	15,973	14,056	1,917	113.6





## (2) 医療研究の状況

脳血管研究センターにおいては、県民医療の向上に資するため、脳血管障害の予防・治療・機能回復に関する研究などを進めており、その成果を各種の学会、論文を通して発表するとともに、当センターの患者の検査や治療に反映させている。

(単位：件)

区 分	論文発表	研究発表
平成19年度	40	153
平成18年度	58	136

## (3) 医療機器等の整備状況

脳血管研究センターにおいては、頭腹部同時二方向血管撮影装置を導入し、コンピュータ断層撮影装置を更新した。

また、脳卒中患者に対し、入院直後の急性期から回復期までの一貫したリハビリテーションを提供するため、回復期リハビリ病棟の改修工事を施工している。

リハビリテーション・精神医療センターにおいては、より高度な治療を行うため、内視鏡システムやリハビリ訓練の効果を確認する運転能力判定用運転適性検査装置等を導入している。

(単位：円)

区 分	前年度末現在額	当年度増加額	当年度減少額	当年度末現在額
医療機器	1,237,068,000	598,533,640	297,787,671	1,537,813,969
看護用備品	33,484,347	3,245,600	4,719,159	32,010,788
計	1,270,552,347	601,779,240	302,506,830	1,569,824,757

## (4) 職員の配置状況

平成19年度末の定数内職員数は429名で、前年度より2名の増加となっているが、これは脳血管研究センターで4名増加し、リハビリテーション・精神医療センターにおいて2名減少したことによるものである。

(単位：人、%)

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	対前年度比較		
			(A) - (B)	(A) / (B)	
職 種 別	医 師	37(12)	34(12)	3(0)	108.8
	医療技術員	82	83	1	98.8
	看護職員	271	270	1	100.4
	事務職員	34	33	1	103.0
	その他職員	5(57)	7(57)	2(0)	71.4
計	429(69)	427(69)	2(0)	100.5	

( )は非常勤職員及び臨時的任用職員(職種は医師以外はその他職員としている。)で外数、比率は定数内職員のみと比較である。

## 2 予算及び決算の状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### ア 収入

事業収益は、予算額75億1,675万円に対し、決算額74億2,895万円(収入率98.8%)で、8,780万円の減少となっている。

減少の内訳は、脳血管研究センター5,452万円、リハビリテーション・精神医療センター3,328万円である。

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (仮受消費税等)
	円	円	%	円	円
1 款 脳血管研究センター-事業収益	3,736,693,000	3,682,169,699	98.5	54,523,301	6,722,394
1 項 医 業 収 益	2,146,630,000	2,092,180,532	97.5	54,449,468	6,169,847
2 項 医 業 外 収 益	1,590,063,000	1,589,989,167	99.9	73,833	552,547
2 款 リハビリテーション・精神医療センター-事業収益	3,780,055,000	3,746,776,526	99.1	33,278,474	1,059,363
1 項 医 業 収 益	1,811,225,000	1,778,027,113	98.2	33,197,887	840,059
2 項 医 業 外 収 益	1,968,830,000	1,968,749,413	99.9	80,587	219,304
合 計	7,516,748,000	7,428,946,225	98.8	87,801,775	7,781,757

#### イ 支出

事業費用は、予算額77億932万円に対し、決算額75億8,106万円(執行率98.3%)で、1億2,826万円の不用額となっている。

不用額の内訳は、脳血管研究センター9,829万円、リハビリテーション・精神医療センター2,997万円である。

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
	円	円	%	円	円
1 款 脳血管研究センター-事業費用	3,916,562,000	3,818,273,012	97.5	98,288,988	46,980,997
1 項 医 業 費 用	3,753,725,000	3,658,224,869	97.5	95,500,131	46,980,928
2 項 医 業 外 費 用	160,837,000	160,048,143	99.5	788,857	69
3 項 予 備 費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	
2 款 リハビリテーション・精神医療センター-事業費用	3,792,756,000	3,762,787,542	99.2	29,968,458	38,357,700
1 項 医 業 費 用	3,481,345,000	3,451,460,415	99.1	29,884,585	38,357,700
2 項 医 業 外 費 用	311,411,000	311,327,127	99.9	83,873	
合 計	7,709,318,000	7,581,060,554	98.3	128,257,446	85,338,697

(2) 資本的収入及び支出

ア 収入

資本的収入は、予算額22億5,010万円に対し、決算額22億1,630万円(収入率98.5%)で、3,380万円の減少となっている。

イ 支出

資本的支出は、予算額32億8,778万円に対し、決算額32億5,445万円(執行率99.0%)で、3,333万円の不用額となっている。

不用額の内訳は、脳血管研究センターの建設改良費2,914万円、リハビリテーション・精神医療センターの建設改良費419万円の減である。

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
1 款 脳血管研究センター-資本的収入	円 2,250,100,000	円 2,216,300,000	% 98.5	円 33,800,000	
1 項 企 業 債	2,250,100,000	2,216,300,000	98.5	33,800,000	

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
1 款 脳血管研究センター-資本的支出	円 2,803,188,000	円 2,774,047,781	% 99.0	円 29,140,219	円 27,603,294
1 項 建設改良費	608,809,000	579,669,234	95.2	29,139,766	27,603,294
2 項 企業債償還金	2,194,379,000	2,194,378,547	99.9	453	
2 款 リハビリテーション・精神医療センター-資本的支出	484,591,000	480,400,921	99.1	4,190,079	3,240,815
1 項 建設改良費	72,247,000	68,057,115	94.2	4,189,885	3,240,815
2 項 企業債償還金	412,344,000	412,343,806	99.9	194	
合 計	3,287,779,000	3,254,448,702	99.0	33,330,298	30,844,109

資本的収入額が資本的支出額に不足する額10億3,815万円は、過年度分損益勘定留保資金10億3,815万円で補っている。

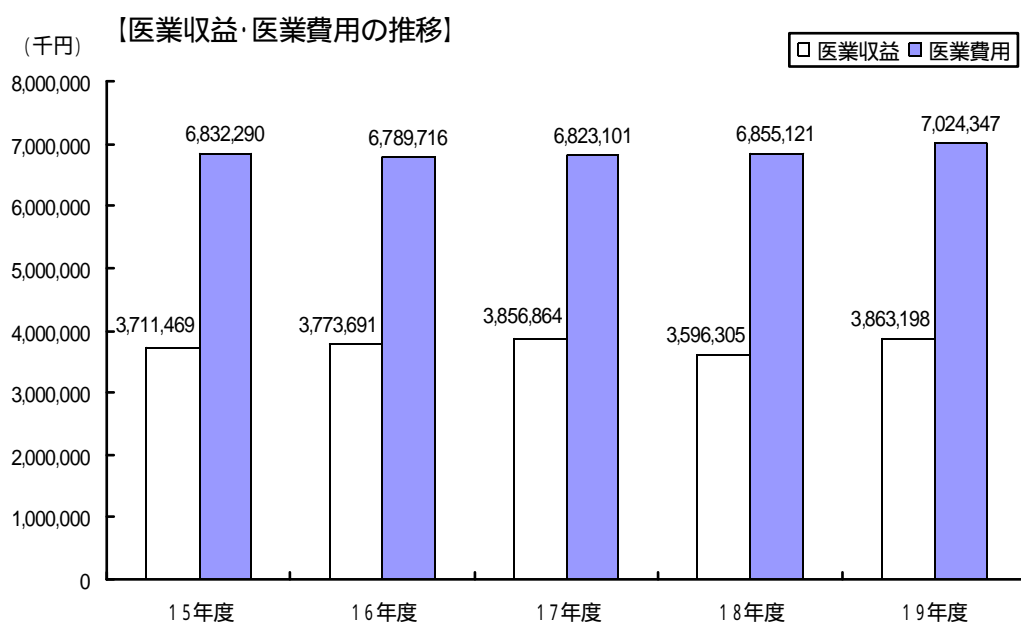
3 経営成績(損益計算書)

平成19年度の医業収益は、38億6,320万円、医業費用は70億2,435万円で差引き31億6,115万円の医業損失となっている。

医業収益は入院収益及び外来収益が前年度に比較して、それぞれ1億731万円、1億2,381万円増加したことから、医業収益全体で2億6,689万円増加している。また、医業費用は材料費

の増加(1億2,445万円)等により、前年度より1億6,923万円増加している。

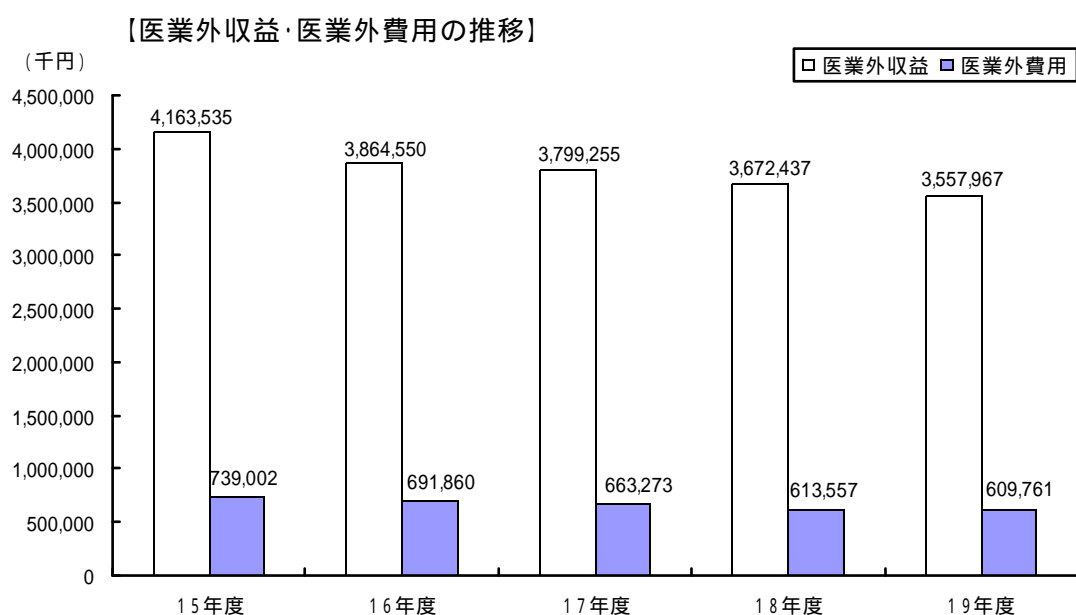
この結果、引き続き医業損失を計上しているが、前年度に比べると9,767万円減少している。

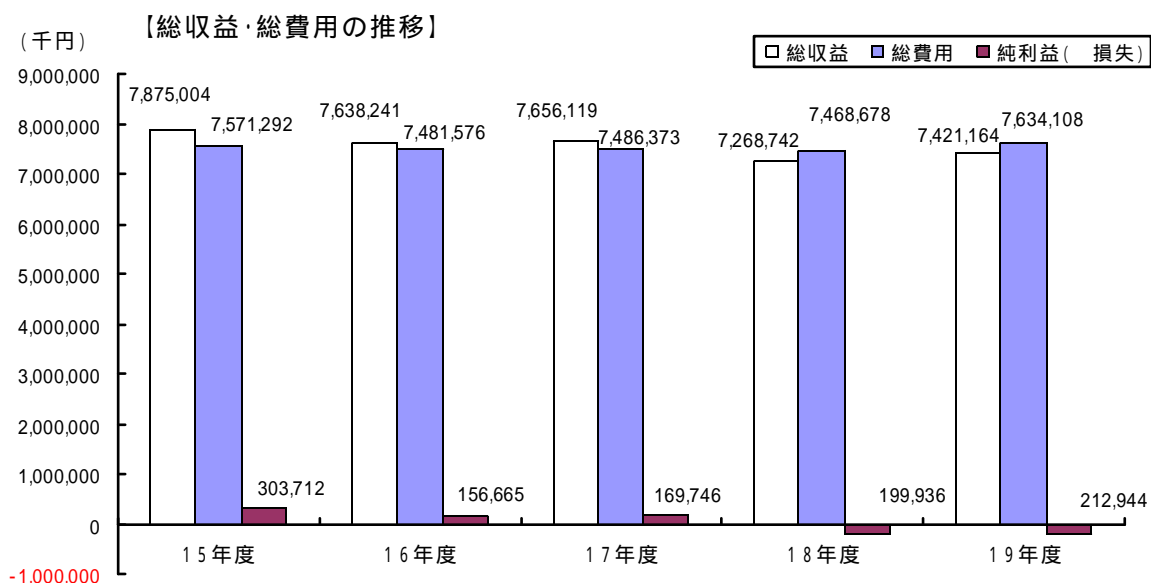


医業外収益は、総額35億5,797万円のうち、他会計補助金が34億1,531万円で、前年度に比較して1億1,262万円減少したことにより、総額で1億1,447万円減少している。

また、医業外費用は、総額6億976万円のうち、企業債利息が4億5,271万円で、前年度に比較して3,310万円減少したことにより、総額で380万円減少している。

この結果、当年度純損失は2億1,294万円となり、前年度に引き続き赤字となっている。





#### 4 剰余金計算書

##### (1) 利益剰余金(欠損金)

平成19年度未処理欠損金は、繰越欠損金年度末残高(1億9,994万円)に当年度純損失(2億1,294万円)を加えた4億1,288万円である。

##### (2) 資本剰余金

当年度の資本剰余金は、受贈財産評価額3,353万円に、補助金4,078万円、寄附金2,506万円、その他資本剰余金6億2,846万円を加えた7億2,783万円で、この全額を翌年度に繰り越している。

#### 5 欠損金処理計算書

平成19年度未処理欠損金4億1,288万円は、繰越欠損金として全額を翌年度に繰り越すことにしている。

#### 6 財政状態(貸借対照表)

##### (1) 資産

資産の部の総額は197億7,600万円で、前年度末に比較し、9,771万円(0.5%)の減少となっている。

これは現金・預金の増加(1億4,237万円)等によって流動資産が2億195万円増加したものの、減価償却等によって固定資産が2億9,966万円減少したことによるものである。

また、未収金の内訳は、医業未収金6億4,776万円(診療報酬請求分等)のほか、医業外未収金が1,525万円となっている。未収金の大半を占める医業未収金は前年度と比較して4,752万円(7.9%)増加している。

なお、資産の内訳は、固定資産152億4,023万円、流動資産45億3,577万円である。

## (2) 負債

負債の部の総額は9億4,248万円で、前年度に比較し4億7,736万円(102.6%)増加となっている。

負債の増加は、未払金が4億5,516万円(113.4%)増加したことによるものである。

負債の内訳は、全額が流動負債である。

## (3) 資本

資本の部の総額は188億3,353万円で、前年度末に比較し5億7,507万円(3.0%)の減少となっている。

資本の部の減少は、企業債の償還によって借入資本金が3億9,042万円減少したことによるものである。

資本の内訳は、資本金185億1,857万円、剰余金3億1,496万円である。

## (4) 正味運転資本

平成19年度末の正味運転資本(35億9,330万円)は、前年度末より2億7,540万円減少している。

正味運転資本の減少は、資金の源泉となる企業債の発行(22億1,630万円)、減価償却費(9億3,324万円)、受贈財産評価額の増加(2,830万円)、固定資産除却費(1,160万円)の合計(31億8,945万円)が、資金の運用である企業債償還金(26億672万円)と固定資産の増加(6億4,518万円)及び当期純損失(2億1,294万円)の合計(34億6,485万円)を下回ったことによるものである。

(単位：円)

運 用		源 泉	
企業債償還金	2,606,722,353	企業債の発行	2,216,300,000
固定資産の増加	645,182,240	減価償却費	933,242,862
当期純損失	212,943,581	受贈財産評価額	28,300,000
		固定資産除却費	11,602,396
		正味運転資本減少額	275,402,916
合 計	3,464,848,174	合 計	3,464,848,174

## 参 考 资 料

# 1 比較損益計算書

区 分 科 目	平成19年度		平成18年度		対前年度比較	
	金 額 (a)	対医業 収益比	金 額 (b)	対医業 収益比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
	円	%	円	%	円	%
1 医 業 収 益 (A)	3,863,197,739	100.0	3,596,305,400	100.0	266,892,339	7.4
(1) 入 院 収 益	2,798,763,069	72.4	2,691,448,854	74.8	107,314,215	4.0
(2) 外 来 収 益	924,212,438	23.9	800,406,055	22.3	123,806,383	15.5
(3) そ の 他 医 業 収 益	140,222,232	3.6	104,450,491	2.9	35,771,741	34.2
2 医 業 費 用 (B)	7,024,346,656	181.8	6,855,120,978	190.6	169,225,678	2.5
(1) 給 与 費	3,794,379,028	98.2	3,739,613,014	104.0	54,766,014	1.5
(2) 材 料 費	894,986,111	23.2	770,533,637	21.4	124,452,474	16.2
(3) 経 費	1,287,937,704	33.3	1,264,281,673	35.2	23,656,031	1.9
(4) 減 価 償 却 費	933,242,862	24.2	946,155,967	26.3	12,913,105	1.4
(5) 資 産 減 耗 費	12,679,667	0.3	24,194,052	0.7	11,514,385	47.6
(6) 研 究 研 修 費	101,121,284	2.6	110,342,635	3.1	9,221,351	8.4
医 業 利 益 ( 損 失 ) (A) - (B) = (C)	3,161,148,917	81.8	3,258,815,578	90.6	97,666,661	3.0
3 医 業 外 収 益 (D)	3,557,966,729	92.1	3,672,436,560	102.1	114,469,831	3.1
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	14,006,404	0.4	4,626,848	0.1	9,379,556	202.7
(2) 他 会 計 補 助 金	3,415,310,000	88.4	3,527,933,000	98.1	112,623,000	3.2
(3) 負 担 金 及 び 交 付 金	91,557,000	2.4	97,773,986	2.7	6,216,986	6.4
(4) そ の 他 医 業 外 収 益	37,093,325	1.0	42,102,726	1.2	5,009,401	11.9
4 医 業 外 費 用 (E)	609,761,393	15.8	613,556,755	17.1	3,795,362	0.6
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	452,709,103	11.7	485,804,265	13.5	33,095,162	6.8
(2) 雑 支 出	141,913,392	3.7	116,214,881	3.2	25,698,511	22.1
(3) 雑 損 失	15,138,898	0.4	11,537,609	0.3	3,601,289	31.2
経 常 利 益 ( 損 失 ) (C) + (D) - (E)	212,943,581	5.5	199,935,773	5.6	13,007,808	6.5
当 年 度 純 利 益 ( 損 失 )	212,943,581	5.5	199,935,773	5.6	13,007,808	6.5
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 ( 欠 損 金 )	199,935,773	5.2	0	0.0	199,935,773	皆減
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 ( 欠 損 金 )	412,879,354	10.7	199,935,773	5.6	212,943,581	106.5
収 益 合 計 (A) + (D)	7,421,164,468	192.1	7,268,741,960	202.1	152,422,508	2.1
費 用 合 計 (B) + (E)	7,634,108,049	197.6	7,468,677,733	207.7	165,430,316	2.2



## 2 比較貸借対照表

区 分 科 目		平成19年度		平成18年度		対前年度比較	
		金 額 (a)	構 成 比	金 額 (b)	構 成 比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
資 産 の 部	1 固 定 資 産	15,240,229,583	77.1	15,539,892,601	78.2	299,663,018	1.9
	(1) 有形固定資産	14,734,339,417	74.5	15,034,002,435	75.6	299,663,018	2.0
	ア 土地	2,993,031,543	15.1	2,993,031,543	15.1	0	0.0
	イ 建物	19,891,923,331	100.6	19,867,945,536	100.0	23,977,795	0.1
	減価償却累計額( )	10,084,099,927	51.0	9,470,936,462	47.7	613,163,465	6.5
	ウ 構築物	634,385,612	3.2	631,445,612	3.2	2,940,000	0.5
	減価償却累計額( )	379,467,108	1.9	367,195,695	1.8	12,271,413	3.3
	工 器械・備品	8,175,587,644	41.3	7,777,260,137	39.1	398,327,507	5.1
	減価償却累計額( )	6,519,710,049	33.0	6,420,236,607	32.3	99,473,442	1.5
	才 車	52,932,020	0.3	52,932,020	0.3	0	0.0
	減価償却累計額( )	30,243,649	0.2	30,243,649	0.2	0	0.0
	力 建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(2) 無形固定資産	6,140,166	0.0	6,140,166	0.0	0	0.0
	ア 電話加入権	6,140,166	0.0	6,140,166	0.0	0	0.0
	(3) 投資資産	499,750,000	2.5	499,750,000	2.5	0	0.0
	ア 投資有価証券	499,750,000	2.5	499,750,000	2.5	0	0.0
	2 流 動 資 産	4,535,772,942	22.9	4,333,818,177	21.8	201,954,765	4.7
	(1) 現金・預金	3,831,515,576	19.4	3,689,142,320	18.6	142,373,256	3.9
	(2) 未 収 金	663,015,209	3.4	602,934,293	3.0	60,080,916	10.0
	ア 医業未収金	647,760,838	3.3	600,243,462	3.0	47,517,376	7.9
イ 医業外未収金	15,254,371	0.1	2,644,958	0.0	12,609,413	476.7	
ウ その他未収金	0	0.0	45,873	0.0	45,873	100.0	
(3) 貯 蔵 品	41,242,157	0.2	41,741,564	0.2	499,407	1.2	
ア 薬 品	26,398,399	0.1	29,455,172	0.1	3,056,773	10.4	
イ 診療材料	14,843,758	0.1	12,286,392	0.1	2,557,366	20.8	
(4) その他流動資産	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
資 産 合 計		19,776,002,525	100.0	19,873,710,778	100.0	97,708,253	0.5
負 債 の 部	3 流 動 負 債	942,477,040	4.8	465,119,359	2.3	477,357,681	102.6
	(1) 未 払 金	856,633,975	4.3	401,472,206	2.0	455,161,769	113.4
	ア 医業未払金	442,622,760	2.2	363,328,154	1.8	79,294,606	21.8
	イ その他未払金	414,011,215	2.1	38,144,052	0.2	375,867,163	985.4
	(2) 未 払 費 用	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(3) その他流動負債	85,843,065	0.4	63,647,153	0.3	22,195,912	34.9
	ア 預り金	44,956,184	0.2	37,309,522	0.2	7,646,662	20.5
イ 前受金	40,886,881	0.2	26,337,631	0.1	14,549,250	55.2	
負 債 合 計		942,477,040	4.8	465,119,359	2.3	477,357,681	102.6
資 本 の 部	4 資 本 金	18,518,569,999	93.6	18,908,992,352	95.1	390,422,353	2.1
	(1) 自 己 資 本 金	5,500,092,845	27.8	5,500,092,845	27.7	0	0.0
	(2) 借 入 資 本 金	13,018,477,154	65.8	13,408,899,507	67.5	390,422,353	2.9
	ア 企 業 債	13,018,477,154	65.8	13,408,899,507	67.5	390,422,353	2.9
	5 剰 余 金	314,955,486	1.6	499,599,067	2.5	184,643,581	37.0
	(1) 資 本 剰 余 金	727,834,840	3.7	699,534,840	3.5	28,300,000	4.0
	ア 受贈財産評価額	33,534,634	0.2	5,234,634	0.0	28,300,000	540.6
	イ 補助金	40,775,150	0.2	40,775,150	0.2	0	0.0
	ウ 寄附金	25,064,056	0.1	25,064,056	0.1	0	0.0
	エ その他資本剰余金	628,461,000	3.2	628,461,000	3.2	0	0.0
(2) 利益剰余金(欠損金)	412,879,354	2.1	199,935,773	1.0	212,943,581	106.5	
ア 繰越利益剰余金(繰越欠損金)	199,935,773	1.0	0	0.0	199,935,773	0.0	
イ 当年度純利益(純損失)	212,943,581	1.1	199,935,773	1.0	13,007,808	6.5	
資 本 合 計		18,833,525,485	95.2	19,408,591,419	97.7	575,065,934	3.0
負 債 資 本 合 計		19,776,002,525	100.0	19,873,710,778	100.0	97,708,253	0.5

### 3 経営分析表

項目	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	算式
自己資本構成比率	%	29.6	30.2	29.4	$(\text{自己資本金} + \text{剰余金}) \div \text{総資本} \times 100$
固定資産対長期資本比率	%	79.7	80.1	80.9	$\text{固定資産} \div (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}) \times 100$
流動比率	%	1,002.1	931.8	481.3	$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$
減価償却率	%	6.9	7.3	7.1	$\text{減価償却費} \div (\text{固定資産} - \text{土地} + \text{減価償却費}) \times 100$
未収金回転率	回	6.2	5.9	6.1	$\text{医業収益} \div ((\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \div 2)$
医業収支比率	%	56.5	52.5	55.0	$\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$
利子負担率	%	3.6	3.6	3.5	$\text{支払利息及び企業債取扱諸費} \div \text{企業債} \times 100$

自己資本構成比率は、総資本（負債＋資本）に対する自己資本（自己資本金＋剰余金）の割合であり、この割合が高いほど財政基盤は安定している。

固定資産対長期資本比率は、固定資産が長期調達資金でどの程度補てんされているかを表しており、100%以下であることが必要で、低いほど長期的な財政の健全性が高いことを示している。

流動比率は、短期的（1年以内）支払能力を表す。通常100%を上回る必要があり、高いほど経営の安全性と信頼度が高いといわれる。

減価償却率は、機械、設備等減価償却を伴う資産の当年度における減価償却率で、長期間の推移をみることに、稼働中の機械、設備等の耐久度を推測する。

未収金回転率は、未収金が収益によって何回転しているかを表しており、数値が大きいのほど未収期間が短く、未収金が早く回収されていることを示す。

医業収支比率は、医療活動に要する費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示しており、この比率が高いほど、収益性が良いことを表す。

利子負担率は、企業債等借入金全体の利率の水準を示す。

〔 脳 血 管 研 究 セ ン タ ー 〕

〔脳血管研究センター〕

1 事業の概況

脳血管研究センターは、脳血管障害に関連する研究及び医療を行う機関として6研究部門、6診療科（160床）で運営されている。ただし、平成11年度からそれまでの稼働実績に合わせて病床を120床とし、それに対応した診療体制をとっている。

（1）患者の利用状況等

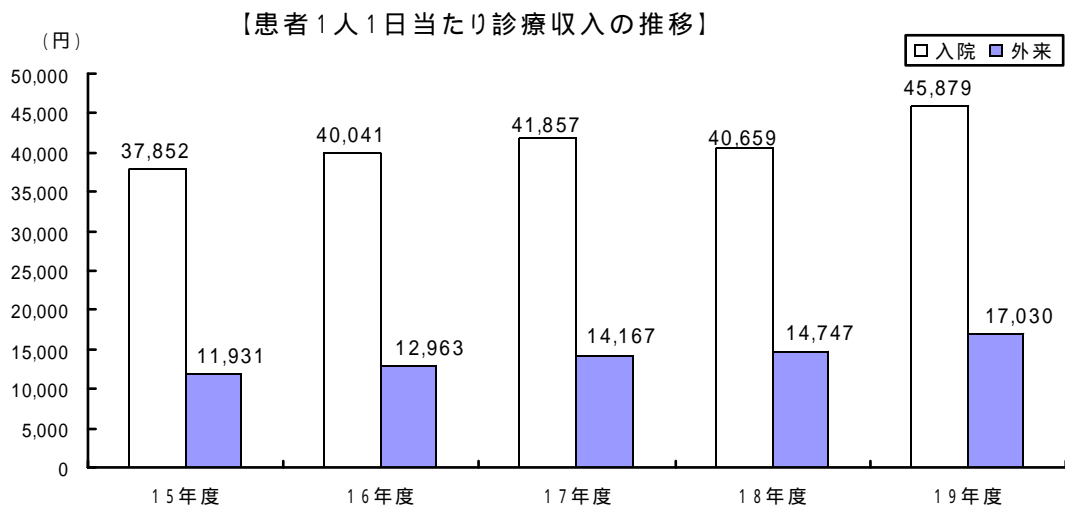
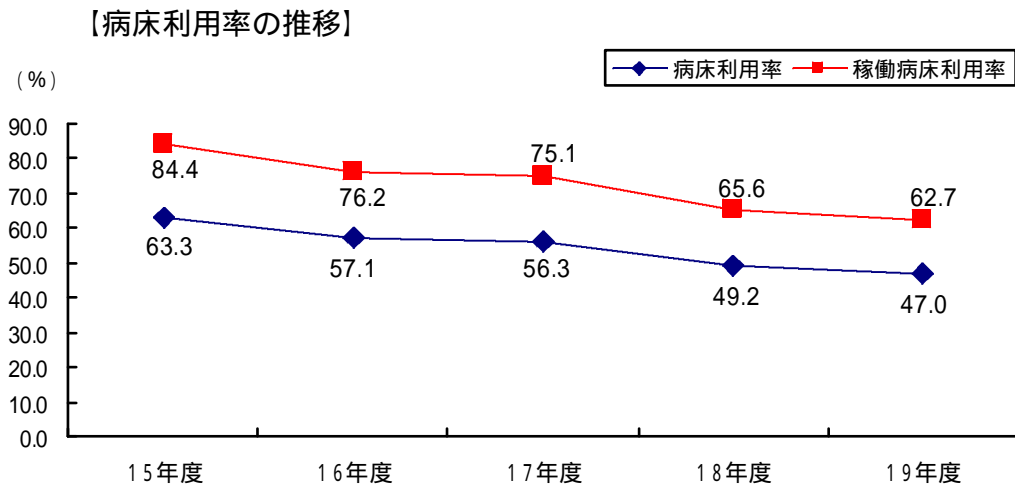
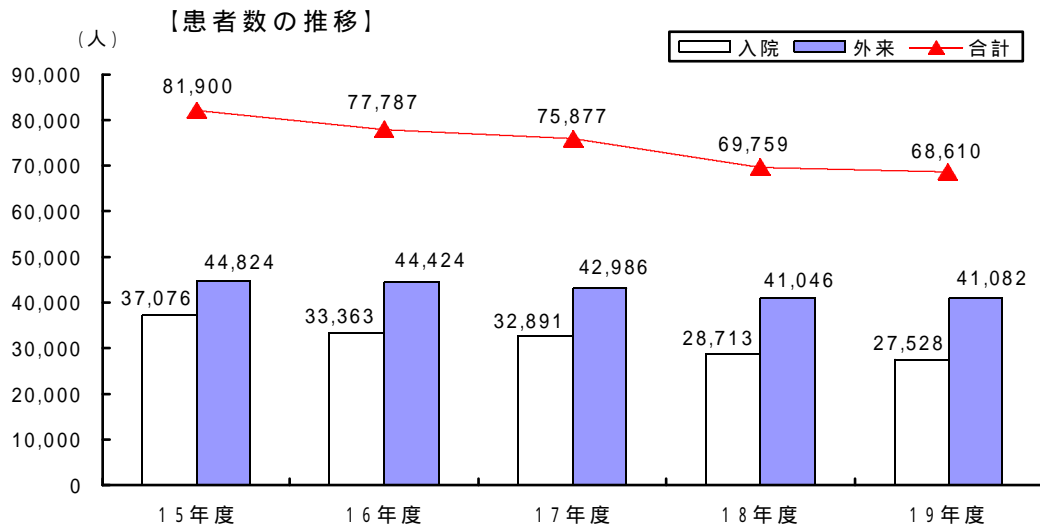
平成19年度の患者数は、入院患者が27,528人、外来患者が41,082人で、全体では68,610人となっている。前年度に比較し入院患者が1,185人（4.1%）の減少、外来患者が36人（0.1%）の増加で、全体では1,149人（1.6%）減少している。

入院患者の減少に伴い病床利用率は47.0%と、前年度に比較し2.2ポイント低くなっている。

また、実際の稼働病床（120床）でみた病床利用率は62.7%で、前年度に比較し2.9ポイント低くなっている。

患者1人1日当たり診療収入は、入院が45,879円、外来が17,030円で、前年度に比較して、入院で5,220円（12.8%）増加し、外来で2,283円（15.5%）増加している。

区 分	単位	平成19年度	平成18年度	対前年度比較		
		(A)	(B)	(A)-(B)	(A)/(B)(%)	
病 床 数	床	160	160	0	100.0	
うち稼働病床数	床	120	120	0	100.0	
患者延数	人	68,610	69,759	1,149	98.4	
	入院	27,528	28,713	1,185	95.9	
	外来	41,082	41,046	36	100.1	
1日平均患者数	入院	75.2	78.7	3.5	95.6	
	外来	167.7	167.5	0.2	100.1	
外来/入院患者比率	%	149.2	143.0	6.2		
病 床 利 用 率	%	47.0	49.2	2.2		
稼働病床利用率	%	62.7	65.6	2.9		
患者1人1日	入院	円	45,879	40,659	5,220	112.8
当たり診療収入	外来	円	17,030	14,747	2,283	115.5



(2) 医療研究の状況

県民医療の向上に資するため、脳血管障害の予防・治療・機能回復に関する研究などを進めており、その成果を各種の学会、論文を通して発表するとともに、当センターの患者の検査や治療に反映させている。

(単位：件)

区 分	論文発表	研究発表
平成19年度	40	153
平成18年度	58	136

### (3) 医療機器等の整備状況

平成19年度は、頭腹部同時二方向血管撮影装置を導入し、コンピュータ断層撮影装置を更新している。

また、脳卒中患者に対し、入院直後の急性期から回復期までの一貫したリハビリテーションを提供するため、回復期リハビリ病棟の改修工事を施工している。

(単位：円)

区 分	前年度末現在額	当年度増加額	当年度減少額	当年度末現在額
医療機器	900,935,570	547,257,340	236,260,596	1,211,932,314
看護用備品	24,798,875	3,245,600	4,100,314	23,944,161
計	925,734,445	550,502,940	240,360,910	1,235,876,475

### (4) 職員の配置状況

平成19年度末の定数内職員数は191名で、前年度より4名増加(医師3名増、医療技術員1名増、事務職員1名増、その他職員が1名減)している。

(単位：人、%)

区 分		平成19年度	平成18年度	対前年度比較	
		(A)	(B)	(A) - (B)	(A) / (B)
職 種 別	医 師	21 (10)	18 (10)	3(0)	116.7
	医療技術員	36	35	1	102.9
	看護職員	112	112	0	100
	事務職員	17	16	1	106.3
	その他職員	5 (33)	6 (30)	1(3)	83.3
計		191 (43)	187 (40)	4(3)	102.1

( )は非常勤職員及び臨時的任用職員(職種は医師以外はその他職員としている)で外数、比率は定数内職員のみと比較である。

## 2 予算及び決算の状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### ア 収入

事業収益は、予算額37億3,669万円に対し、決算額36億8,217万円(収入率98.5%)で、5,452万円の減となっている。

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (仮受消費税等)
1 款 事 業 収 益	3,736,693,000	3,682,169,699	98.5	54,523,301	6,722,394
1 項 医 業 収 益	2,146,630,000	2,092,180,532	97.5	54,449,468	6,169,847
2 項 医 業 外 収 益	1,590,063,000	1,589,989,167	99.9	73,833	552,547

イ 支出

事業費用は予算額39億1,656万円に対し、決算額38億1,827万円（執行率97.5%）で、9,829万円の不用額となっている。

（単位：円、%）

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
1 款 事 業 費 用	3,916,562,000	3,818,273,012	97.5	98,288,988	46,980,997
1 項 医 業 費 用	3,753,725,000	3,658,224,869	97.5	95,500,131	46,980,928
2 項 医 業 外 費 用	160,837,000	160,048,143	99.5	788,857	69
3 項 予 備 費	2,000,000	0	0.0	2,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

ア 収入

資本的収入は、予算額22億5,010万円に対し、決算額22億1,630万円（収入率98.5%）で、3,380万円の減となっている。

イ 支出

資本的支出は、予算額28億319万円に対し、決算額27億7,405万円（執行率99.0%）で、2,914万円の不用額となっている。

支出の内訳は、建設改良費及び企業債償還金である。

(資本的収入)

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
1 款 資 本 的 収 入	2,250,100,000	2,216,300,000	98.5	33,800,000	
1 項 企 業 債	2,250,100,000	2,216,300,000	98.5	33,800,000	

(資本的支出)

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税)
1 款 資 本 的 支 出	2,803,188,000	2,774,047,781	99.0	29,140,219	27,603,294
1 項 建 設 改 良 費	608,809,000	579,669,234	95.2	29,139,766	27,603,294
2 項 企 業 債 償 還 金	2,194,379,000	2,194,378,547	99.9	453	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額5億5,775万円は、全額を過年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

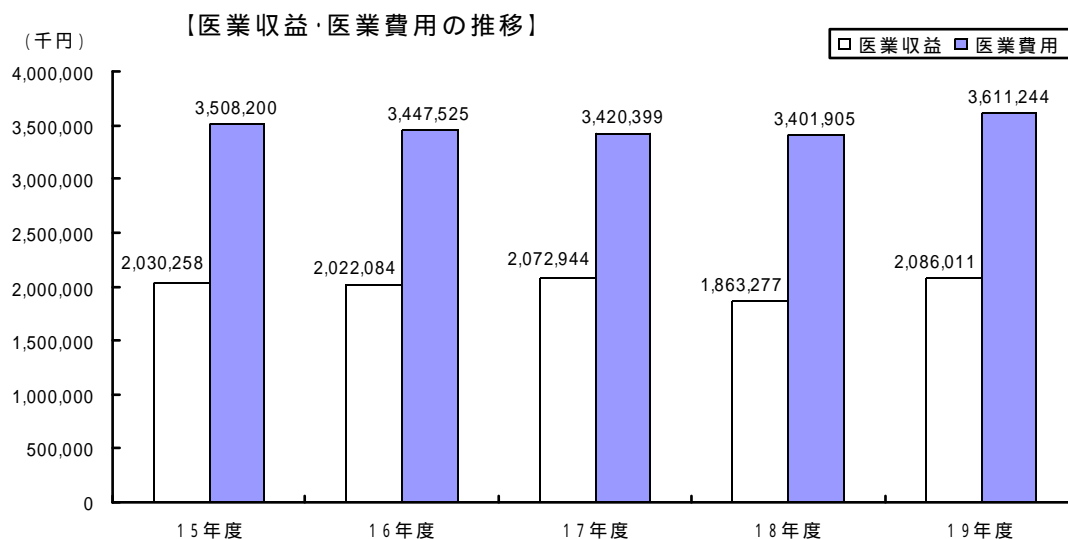
3 経営成績（損益計算書）

平成19年度の医業収益は20億8,601万円、医業費用は36億1,124万円で差引き15億2,523万円の医業損失となっている。

医業収益は、入院収益及び外来収益が前年度に比較して、それぞれ9,553万円、9,434万円増加したことから、全体で2億2,273万円増加している。

医業費用は、研究研修費（966万円）、減価償却費（647万円）が減少したものの、材料費の増加（1億392万円）、給与費の増加(9,450万円)などにより、前年度に比較して2億934万円の増加となっている。

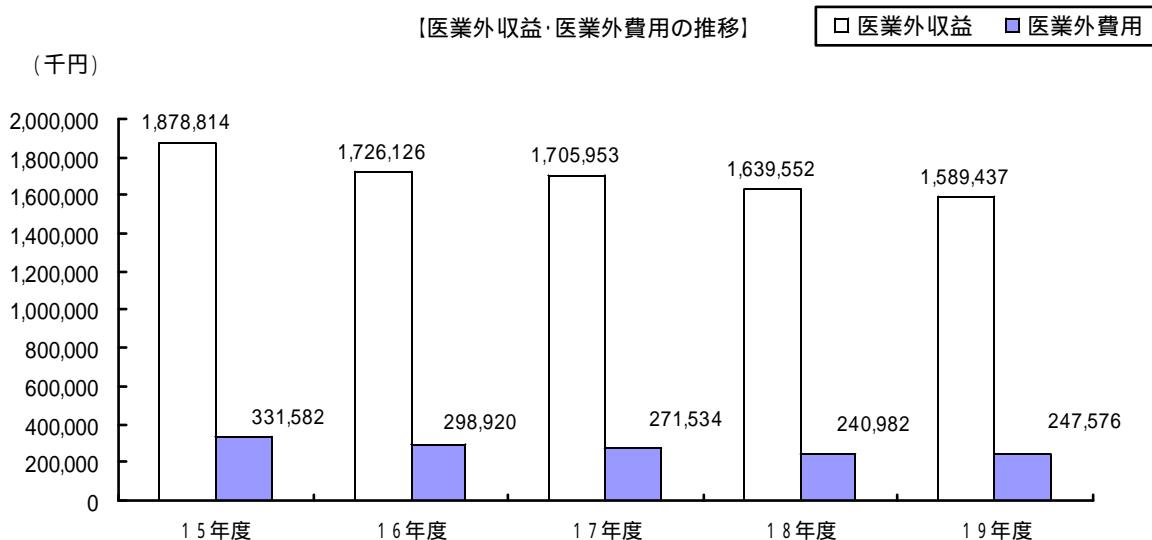
この結果、医業損失は、前年度より1,339万円減少している。



医業外収益は、総額15億8,944万円のうち、他会計補助金が15億6,400万円で、前年度に比較して4,900万円減少したことより、総額で5,012万円の減少となっている。

また、医業外費用は総額で2億4,758万円となっており、前年度より659万円増加している。

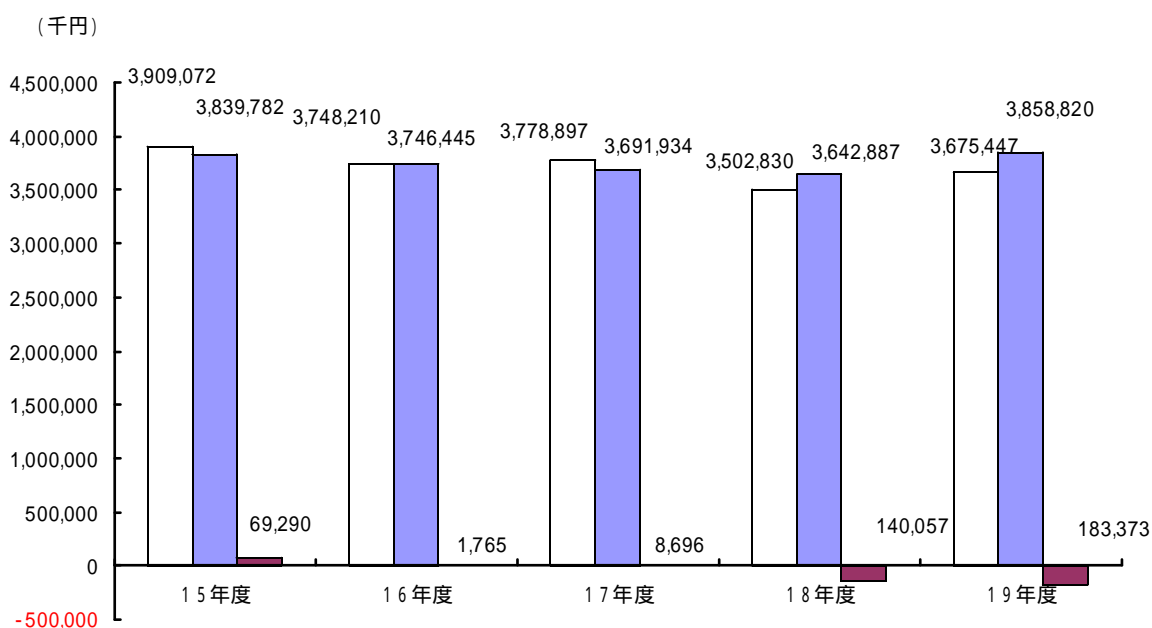
この結果、損益全体で、前年度の1億4,006万円の純損失に引き続いて1億8,337万円の純損失を計上している。





【総収益・総費用の推移】

□ 総収益 ■ 総費用 ■ 損益



#### 4 剰余金計算書

##### (1) 利益剰余金(欠損金)

平成19年度未処理欠損金は、前年度繰越欠損金2億1,302万円に当年度純損失1億8,337万円を加えた3億9,640万円である。

##### (2) 資本剰余金

当年度の資本剰余金は、前年度から繰り越された受贈財産評価額323万円、建設改良費の財源として受け入れた寄附金2,506万円、補助金4,078万円に当年度発生分の受贈財産評価額2,800万円を加えた9,707万円で、この全額を翌年度に繰り越している。

#### 5 欠損金処理計算書

平成19年度未処理欠損金3億9,640万円は、繰越欠損金として全額を翌年度に繰り越すことにしている。

#### 6 財政状態(貸借対照表)

##### (1) 資産

資産の部の総額は63億438万円で、前年度末に比較し、3億8,056万円(6.4%)の増加となっている。

これは現金・預金の増加(1億5,600万円)等によって流動資産が1億7,289万円増加したことや、器械・備品の増加(3億8,228万円)等によって固定資産が2億768万円増加したことによるものである。

また、未収金の内訳は、医業未収金3億1,316万円(診療報酬請求分等)、医業外未収金412万円となっている。未収金の大半を占める医業未収金は前年度と比較して1,596万円(5.4%)増加している。

なお、資産の内訳は、固定資産50億1,811万円、流動資産12億8,627万円である。

## (2) 負債

負債の部の総額は8億175万円で、前年度末に比較し5億1,401万円(178.6%)増加している。

負債の増加は、未払金の増4億9,188万円(209.6%)等によるものである。

負債は全額が流動負債である。

## (3) 資本

資本の部の総額は55億263万円で、前年度末に比較し1億3,345万円(2.4%)の減少となっている。

資本の部の減少は、1億8,337万円の純損失を計上したこと等によるものである。

資本の内訳は、資本金58億195万円、剰余金 2億9,932万円である。

## (4) 正味運転資本

平成19年度末の正味運転資本(4億8,452万円)は、前年度末より3億4,113万円減少している。

正味運転資本の減少は、資金の源泉となる企業債の発行(22億1,630万円)、減価償却費(3億6,366万円)、固定資産除却費(873万円)、受贈財産評価額の増加(2,800万円)の合計(26億1,669万円)が資金の運用である企業債償還金(21億9,438万円)と固定資産の増加(5億8,007万円)及び当期純損失(1億8,337万円)の合計(29億5,782万円)を下回ったことによるものである。

(単位:円)

運	用	源	泉
企業債償還金	2,194,378,547	企業債の発行	2,216,300,000
固定資産の増加	580,065,940	減価償却費	363,655,575
当期純損失の増加	183,373,023	固定資産除却費	8,734,625
		受贈財産評価額の増加	28,000,000
		正味運転資本減少額	341,127,310
合計	2,957,817,510	合計	2,957,817,510

## 7 経営状況の全国比較

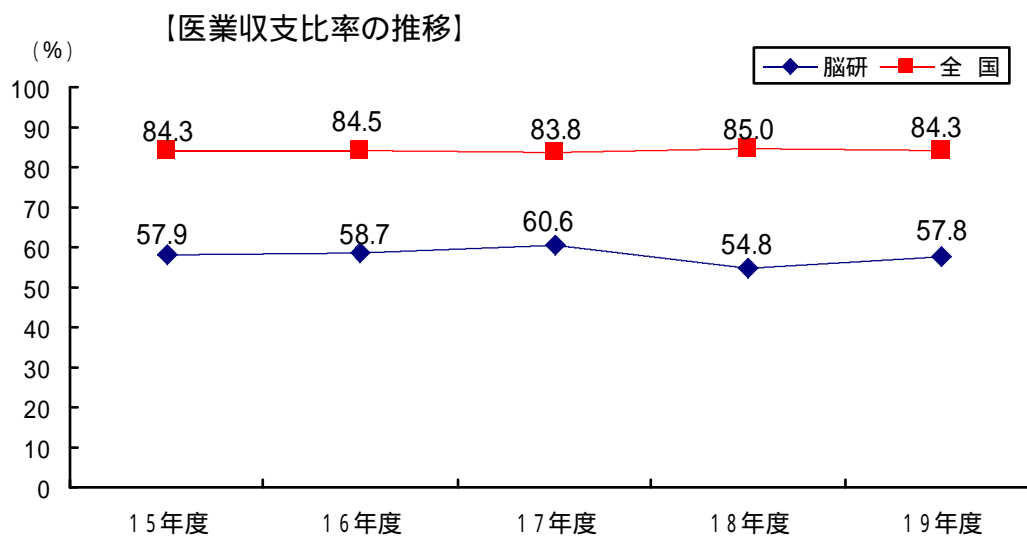
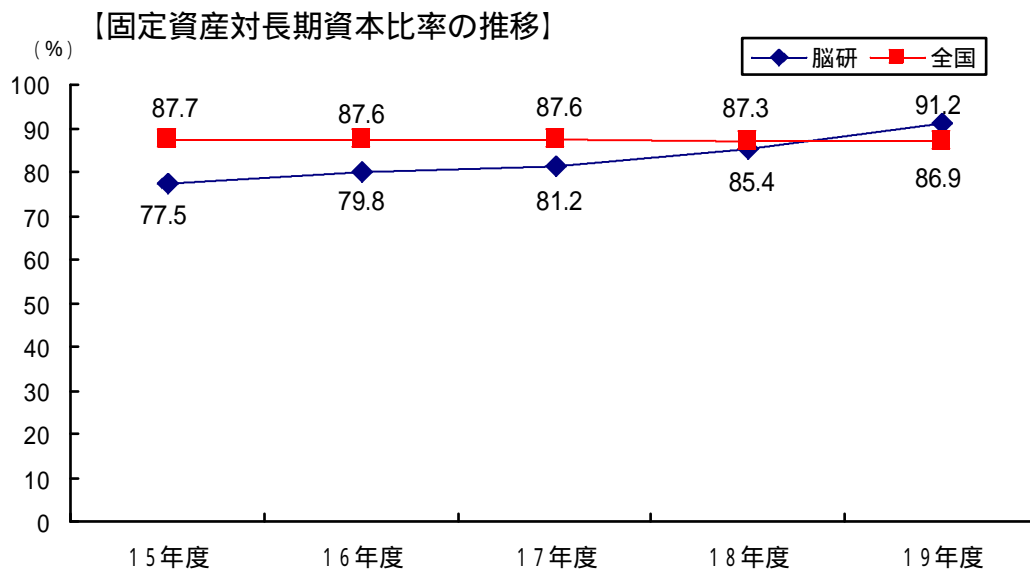
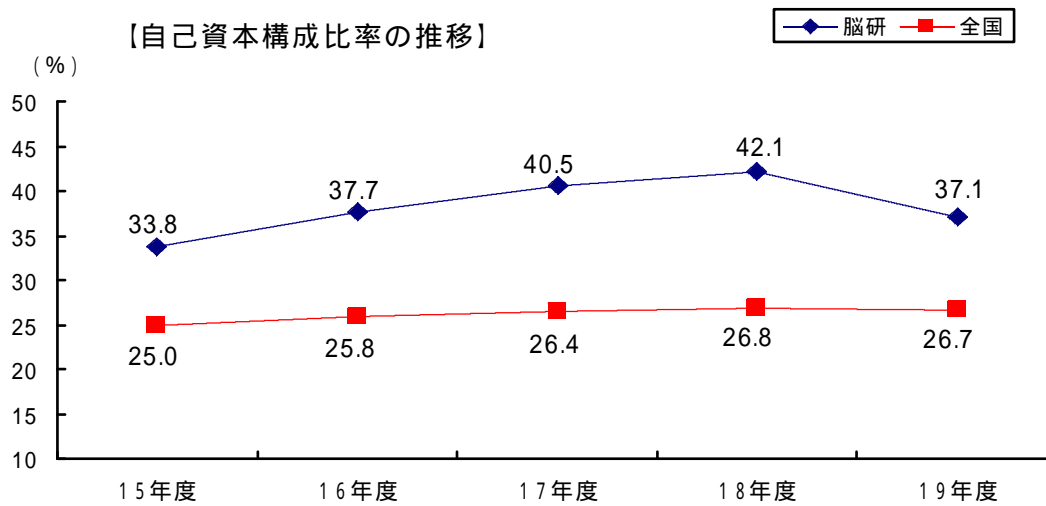
医療内容等の違いから単純には比較できないが、研究部門を除いた経営の状況を全国(『地方公営企業年鑑(平成19年度総務省調査)』「類似規模病院、病床数100床以上200床未満」(ただし、財務関係比率は「都道府県立の全病院」)の平均。以下同じ。)と比較すると、次のとおりである。

財政基盤の安定性を示す自己資本構成比率は、37.1%で、全国の26.7%を10.4ポイント上回っている。

財政基盤の長期健全性を示す固定資産対長期資本比率は、91.2%で、全国の86.9%を上回っている。

医療費用に対する医療収益の割合を示す医療収支比率は、57.8%で、全国の84.3%を下回っている。

企業債の利子負担率は4.8%で、全国の2.6%を上回っている。



全国値は、総務省の調査年度（前年度実績）の数値である。

患者数についてみると、医師 1 人 1 日当たり患者数は、入院が4.3人、外来が6.4人で、全国に比べ、入院で4.4人、外来で10.6人少ない。また、看護職員 1 人 1 日当たり患者数は、入院が0.6人、外来が0.9人で、全国に比べ、入院で0.7人、外来で1.6人少ない。

収入についてみると、患者 1 人 1 日当たり診療収入は、入院が45,879円、外来が17,030円で、全国をそれぞれ19,637円、8,937円上回っている。一方、職員 1 人 1 日当たり診療収入は、医師が306,417円、看護職員が45,205円となっており、全国の364,826円、52,867円のそれぞれ84.0%、85.5%と低い水準にとどまっている。

費用についてみると、患者 1 人 1 日当たりの薬品費では、投薬は3,847円、注薬は1,618円となっており、全国の1,013円、1,007円を上回っている。

薬品使用効率でみると、投薬が112.0%、注薬が108.8%と全国の119.6%、114.7%をそれぞれ下回っている。

医業収益に対する職員給与費の割合は76.1%で、全国の56.3%を上回っている。

検査（外部委託検査を含む。）の状況については、検査技師 1 人当たりの年間検査件数は36,572件、検査収入は17,465千円で、全国の57,498件、36,256千円のそれぞれ63.6%、48.2%となっている。また、放射線技師 1 人当たりの年間放射線件数は3,163件で、全国の6,278件の50.4%となっているが、放射線技師 1 人当たりの年間放射線収入は42,345千円で、全国の22,960千円を84.4%上回っている。

稼働病床100床当たり職員数（外部委託をしている給食部門を除く。）は155.8人で、全国の94.9人に比べ1.64倍と多くなっており、前年比でも4.1人増加している。

職種別では医師1.75倍、看護部門1.75倍、薬剤部門1.14倍、事務部門1.55倍、放射線部門2.39倍、臨床検査部門2.0倍となっている。

## 参 考 资 料

1 比較損益計算書

脳血管研究センター

区 分 科 目	平成19年度		平成18年度		対前年度比較	
	金 額 (a)	対医業 収益比	金 額 (b)	対医業 収益比	(a)-(b)	$\frac{(a)-(b)}{(b)}$
	円	%	円	%	円	%
1 医 業 収 益 (A)	2,086,010,685	100.0	1,863,277,467	100.0	222,733,218	12.0
(1) 入 院 収 益	1,262,965,728	60.5	1,167,439,152	62.7	95,526,576	8.2
(2) 外 来 収 益	699,636,626	33.5	605,301,082	32.5	94,335,544	15.6
(3) そ の 他 医 業 収 益	123,408,331	5.9	90,537,233	4.9	32,871,098	36.3
2 医 業 費 用 (B)	3,611,243,941	173.1	3,401,905,039	182.6	209,338,902	6.2
(1) 給 与 費	1,897,429,355	91.0	1,802,929,976	96.8	94,499,379	5.2
(2) 材 料 費	647,168,854	31.0	543,244,443	29.2	103,924,411	19.1
(3) 経 費	606,240,227	29.1	583,395,044	31.3	22,845,183	3.9
(4) 減 価 償 却 費	363,655,575	17.4	370,129,433	19.9	6,473,858	1.7
(5) 資 産 減 耗 費	8,922,728	0.4	4,715,218	0.3	4,207,510	89.2
(6) 研 究 研 修 費	87,827,202	4.2	97,490,925	5.2	9,663,723	9.9
医 業 利 益 ( 損 失 ) (A) - (B) = (C)	1,525,233,256	73.1	1,538,627,572	82.6	13,394,316	0.9
3 医 業 外 収 益 (D)	1,589,436,620	76.2	1,639,552,331	88.0	50,115,711	3.1
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	536,489	0.0	396,027	0.0	140,462	35.5
(2) 他 会 計 補 助 金	1,564,000,000	75.0	1,613,000,000	86.6	49,000,000	3.0
(3) 負 担 金 及 び 交 付 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(4) そ の 他 医 業 外 収 益	24,900,131	1.2	26,156,304	1.4	1,256,173	4.8
4 医 業 外 費 用 (E)	247,576,387	11.9	240,982,163	12.9	6,594,224	2.7
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	150,367,825	7.2	171,474,056	9.2	21,106,231	12.3
(2) 雑 支 出	90,138,463	4.3	64,544,861	3.5	25,593,602	39.7
(3) 雑 損 失	7,070,099	0.3	4,963,246	0.3	2,106,853	42.4
経 常 利 益 ( 損 失 ) (C) + (D) - (E)	183,373,023	8.8	140,057,404	7.5	43,315,619	30.9
当 年 度 純 利 益 ( 損 失 )	183,373,023	8.8	140,057,404	7.5	43,315,619	30.9
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金 ( 欠 損 金 )	213,022,290	10.2	72,964,886	3.9	140,057,404	192.0
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 ( 欠 損 金 )	396,395,313	19.0	213,022,290	11.4	183,373,023	86.1
収 益 合 計 (A) + (D)	3,675,447,305	176.2	3,502,829,798	188.0	172,617,507	4.9
費 用 合 計 (B) + (E)	3,858,820,328	185.0	3,642,887,202	195.5	215,933,126	5.9

2 比較貸借対照表

脳血管研究センター

区 分 科 目	平成 19年度		平成 18年度		対前年度比較	
	金 額 (a)	構 成 比	金 額 (b)	構 成 比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
		円 %		円 %		円 %
1 固 定 資 産	5,018,111,016	79.6	4,810,435,276	81.2	207,675,740	4.3
(1)有 形 固 定 資 産	5,015,087,218	79.5	4,807,411,478	81.2	207,675,740	4.3
ア 土 地	1,054,497,900	16.7	1,054,497,900	17.8	0	0.0
イ 建 物	7,348,861,858	116.6	7,325,764,063	123.7	23,097,795	0.3
減価償却累計額( )	4,735,492,560	75.1	4,615,339,073	77.9	120,153,487	2.6
ウ 構 築 物	275,363,675	4.4	275,363,675	4.6	0	0.0
減価償却累計額( )	222,084,397	3.5	219,195,514	3.7	2,888,883	1.3
工 器 械 ・ 備 品	5,665,103,364	89.9	5,282,827,553	89.2	382,275,811	7.2
減価償却累計額( )	4,392,596,938	69.7	4,317,941,442	72.9	74,655,496	1.7
才 車	27,850,920	0.4	27,850,920	0.5	0	0.0
減価償却累計額( )	6,416,604	0.1	6,416,604	0.1	0	0.0
力 建 設 仮 勘 定	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(2)無 形 固 定 資 産	3,023,798	0.0	3,023,798	0.0	0	0.0
ア 電 話 加 入 権	3,023,798	0.0	3,023,798	0.0	0	0.0
(3) 投 資	0	0.0	0	0.0	0	0.0
ア 投 資 有 価 証 券	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2 流 動 資 産	1,286,269,883	20.4	1,113,383,730	18.8	172,886,153	15.5
(1)現 金 ・ 預 金	946,884,629	15.0	790,882,548	13.4	156,002,081	19.7
(2)未 収 金	317,280,299	5.0	299,414,654	5.1	17,865,645	6.0
ア 医 業 未 収 金	313,157,179	5.0	297,193,696	5.0	15,963,483	5.4
イ 医 業 外 未 収 金	4,123,120	0.1	2,220,958	0.0	1,902,162	85.6
ウ その他未収金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(3)貯 蔵 品	22,104,955	0.4	23,086,528	0.4	981,573	4.3
ア 薬 品	11,239,322	0.2	10,991,538	0.2	247,784	2.3
イ 診 療 材 料	10,865,633	0.2	12,094,990	0.2	1,229,357	10.2
(4)そ の 他 流 動 資 産	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資 産 合 計	6,304,380,899	100.0	5,923,819,006	100.0	380,561,893	6.4
3 流 動 負 債	801,750,840	12.7	287,737,377	4.9	514,013,463	178.6
(1)未 払 金	726,564,041	11.5	234,684,134	4.0	491,879,907	209.6
ア 医 業 未 払 金	313,095,676	5.0	198,640,334	3.4	114,455,342	57.6
イ その他未払金	413,468,365	6.6	36,043,800	0.6	377,424,565	1047.1
(2)未 払 費 用	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(3)そ の 他 流 動 負 債	75,186,799	1.2	53,053,243	0.9	22,133,556	41.7
ア 預 り 金	34,299,918	0.5	26,715,612	0.5	7,584,306	28.4
イ 前 受 金	40,886,881	0.6	26,337,631	0.4	14,549,250	55.2
負 債 合 計	801,750,840	12.7	287,737,377	4.9	514,013,463	178.6
4 資 本 金	5,801,951,532	92.0	5,780,030,079	97.6	21,921,453	0.4
(1)自 己 資 本 金	2,638,637,342	41.9	2,638,637,342	44.5	0	0.0
(2)借 入 資 本 金	3,163,314,190	50.2	3,141,392,737	53.0	21,921,453	0.7
ア 企 業 債	3,163,314,190	50.2	3,141,392,737	53.0	21,921,453	0.7
5 剰 余 金	299,321,473	4.7	143,948,450	2.4	155,373,023	107.9
(1)資 本 剰 余 金	97,073,840	1.5	69,073,840	1.2	28,000,000	40.5
ア 受 贈 財 産 評 価 額	31,234,634	0.5	3,234,634	0.1	28,000,000	865.6
イ 補 助 金	40,775,150	0.6	40,775,150	0.7	0	0.0
ウ 寄 附 金	25,064,056	0.4	25,064,056	0.4	0	0.0
エ その他資本剰余金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(2)利 益 剰 余 金 ( 欠 損 金 )	396,395,313	6.3	213,022,290	3.6	183,373,023	86.1
ア 繰 越 利 益 剰 余 金 ( 繰 越 欠 損 金 )	213,022,290	3.4	72,964,886	1.2	140,057,404	192.0
イ 当 年 度 純 利 益 ( 純 損 失 )	183,373,023	2.9	140,057,404	2.4	43,315,619	30.9
資 本 合 計	5,502,630,059	87.3	5,636,081,629	95.1	133,451,570	2.4
負 債 資 本 合 計	6,304,380,899	100.0	5,923,819,006	100.0	380,561,893	6.4

3 経営分析表

脳血管研究センター

項目	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	全国平均	算式等		
自己資本構成比率	%	40.5	42.1	37.1	26.7	(自己資本金+剰余金)÷総資本×100		
固定資産対長期資本比率	%	81.2	85.4	91.2	86.9	固定資産÷(資本金+剰余金+固定負債)×100		
流動比率	%	520.0	386.9	160.4	215.7	流動資産÷流動負債×100		
減価償却率	%	8.6	9.0	8.4	5.2	減価償却費÷(固定資産-土地+減価償却費)×100		
未収金回転率	回	6.4	6.0	6.8	5.8	医業収益÷((期首未収金+期末未収金)÷2)		
医業収支比率	%	60.6	54.8	57.8	84.3	医業収益÷医業費用×100		
利子負担率	%	5.3	5.5	4.8	2.6	支払利息及び企業債取扱諸費÷企業債×100		
病床数	床	120	120	120		許可病床数160、稼働病床数120		
職員数	人	194	187	191				
診療日数	入院日	365	365	366				
	外来日	244	245	245				
患者数	年延入院	32,891	28,713	27,528				
	年延外来	42,986	41,046	41,082				
	計	75,877	69,759	68,610				
病床利用率	%	75.1	65.6	62.7	71.8	年延入院患者数÷年延病床数×100		
患者数	1日平均患者数	入院	90.1	78.7	75.2	107.0	年延入院患者数÷入院診療日数	
		外来	176.2	167.5	167.7	298.0	年延外来患者数÷外来診療日数	
	外来入院患者比率	%	130.7	143.0	149.2	195.9	年延外来患者数÷年延入院患者数×100	
	医師1人1日当たり患者数	入院	4.8	4.5	4.3	8.7	年延入院患者数÷年延医師数	
		外来	6.3	6.4	6.4	17.0	年延外来患者数÷年延医師数	
	看護部門1人1日当たり患者数	入院	0.8	0.7	0.6	1.3	年延入院患者数÷年延看護部門職員数	
外来		1.0	0.9	0.9	2.5	年延外来患者数÷年延看護部門職員数		
収入	患者1人1日当たり診療収入	入院	41,857	40,659	45,879	26,242	入院収益÷年延入院患者数	
		外来	14,167	14,747	17,030	8,093	外来収益÷年延外来患者数	
	計	26,170	25,412	28,605	14,226	入院・外来収益÷年延入院・外来患者数		
職員1人1日当たり診療収入	医師	288,841	275,356	306,417	364,826	入院・外来収益÷年延医師数		
	看護	45,309	40,942	45,205	62,867	入院・外来収益÷年延看護部門職員数		
費用	患者1人1日当たり薬品費	投薬	2,774	3,181	3,847	1,013	投薬薬品費÷年延入院・外来患者数	
		注薬	1,715	1,458	1,618	1,007	注薬薬品費÷年延入院・外来患者数	
	計	4,489	4,639	5,465	2,021	投薬・注薬薬品費÷年延入院・外来患者数		
用	入院患者1人1日当たり給食材料費	円	719	756	761	375	患者用給食材料費÷年延入院患者数	
	薬品使用効率	投薬	%	107.4	110.3	112.0	119.6	投薬薬品収入÷投薬用薬品費×100
		注薬	%	102.1	105.6	108.8	114.7	注薬薬品収入÷注薬用薬品費×100
計	%	105.4	108.8	111.0	117.2	投薬・注薬薬品収入÷投薬・注薬薬品費×100		
診療報酬に対する割合	投薬注射収入	%	18.1	19.9	21.2	16.6	投薬・注薬薬品収入÷入院・外来収益×100	
	検査収入	%	7.8	6.9	7.0	10.1	検査収入÷入院・外来収益×100	
	放射線収入	%	15.7	16.1	17.3	5.3	放射線収入÷入院・外来収益×100	
医業収益に対する割合	薬品費	%	16.4	17.6	18.2	13.2	薬品費÷医業収益×100	
	その他医療材料費	%	11.3	11.6	12.8	7.9	その他医療材料費÷医業収益×100	
	職員給与費	%	72.1	79.4	76.1	56.3	職員給与費÷医業収益×100	
検査の状況	患者100人当たり検査件数	件	352.1	366.9	421.1	228.7	年間検査件数÷年延入院・外来患者数×100	
	患者100人当たり放射線件数	件	31.4	33.4	36.9	20.6	年間放射線件数÷年延入院・外来患者数×100	
	検査技師1人当たり検査件数	件	33,822	32,400	36,572	57,498	年間検査件数÷年度末検査技師数	
	検査技師1人当たり検査収入	千円	19,564	15,471	17,465	36,256	検査収入÷年度末検査技師数	
	放射線技師1人当たり放射線件数	件	2,982	2,915	3,163	6,278	年間放射線件数÷年度末放射線技師数	
	放射線技師1人当たり放射線収入	千円	38,968	35,568	42,345	22,960	放射線収入÷年度末放射線技師数	
稼働病床100床当たり職員数	医師	人	15.4	13.3	14.2	8.1	年度末(各種)職員数÷年度末病床数×100	
	看護部門	人	102.9	98.3	100.8	57.7		
	薬剤部門	人	3.5	3.3	3.3	2.9		
	事務部門	人	10.8	11.4	13.5	8.7		
	給食部門	人	0.8	0.8	0.8	3.5		
	放射線部門	人	6.7	6.7	6.7	2.8		
	臨床検査部門	人	6.6	6.6	6.6	3.3		
	その他	人	10.8	11.2	9.8	7.9		
全職員	人	157.5	151.7	155.8	94.9			
1床当たり償却資産	千円	32,716	30,628	32,382	16,579	(償却資産(建物・器械)-減価償却累計額)÷病床数		

・全国平均は、地方公営企業年鑑(平成19年度総務省調査)の「類似規模病院(病床数100床以上200床未満)」の平成18年度実績である。ただし、財務関係比率は、同年鑑の「都道府県立の全病院」の比率を採用している。

・許可病床数160床での病床利用率は、47.0%である。

・総資本=負債+資本

・研究部門を除く。



〔リハビリテーション・精神医療センター〕

## 〔リハビリテーション・精神医療センター〕

### 1 事業の概況

リハビリテーション・精神医療センターは、リハビリテーション医療、精神医療に関する高度で専門的な治療・訓練を行い、社会復帰を促進するための中核的な施設としてリハビリテーション科、神経・精神科、歯科及び放射線科の4診療科で運営されている。病床数は、リハビリ医療が100床、精神医療が200床（うち認知症病床100床。）となっている。

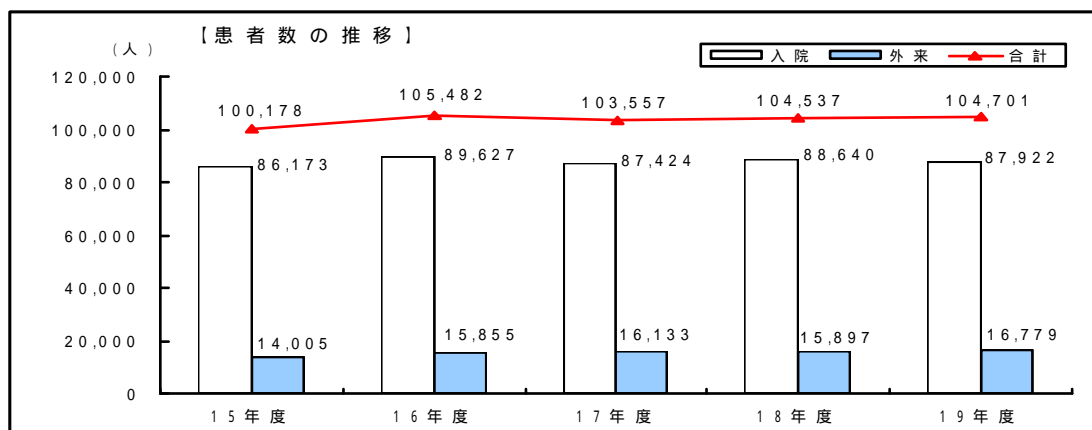
#### （1）患者の利用状況等

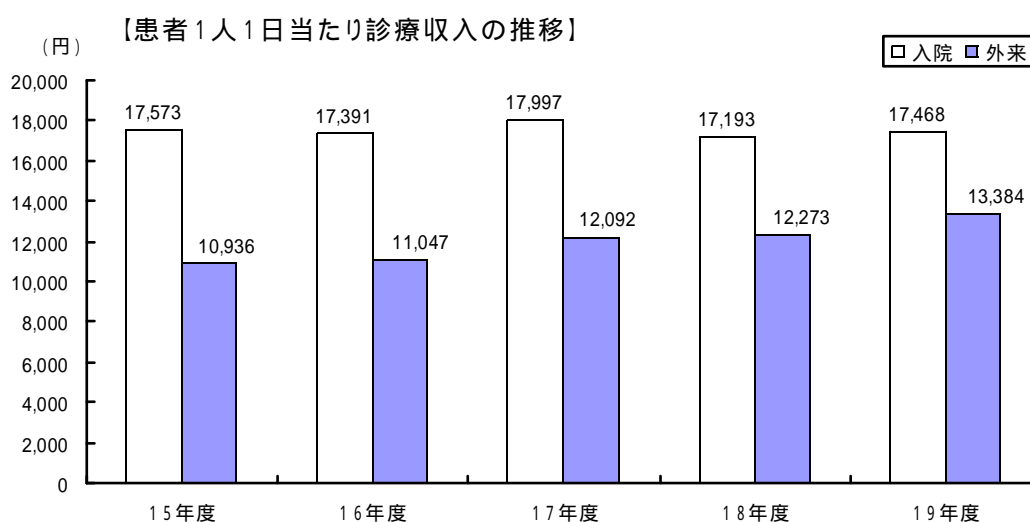
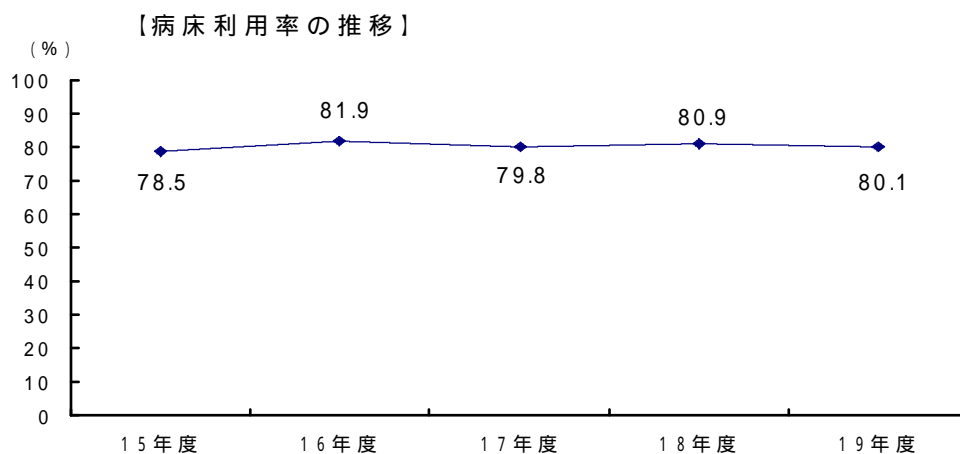
平成19年度の患者数は、入院患者が87,922人、外来患者が16,779人で、全体では104,701人となっている。前年度に比較し入院患者が718人（0.8%）の減少、外来患者が882人（5.5%）の増加で、全体では164人（0.2%）増加している。

入院患者の減少に伴い病床利用率は80.1%と、前年度に比較し0.8ポイント低くなっている。

患者1人1日当たり診療収入は、入院が17,468円、外来が13,384円で、前年度に比較し入院で275円（1.6%）増加、外来で1,111円（9.1%）増加している。

区 分	単位	平成19年度	平成18年度	対前年度比較	
		(A)	(B)	(A)-(B)	(A)/(B)(%)
病 床 数	床	300	300	0	100.0
うち稼働病床数	床	300	300	0	100.0
患者延数		104,701	104,537	164	100.2
	入 院	87,922	88,640	718	99.2
	外 来	16,779	15,897	882	105.5
1日平均患者数	入 院	240.2	242.8	2.6	98.9
	外 来	68.5	64.9	3.6	105.5
外来/入院患者比率	%	19.1	17.9	1.2	
病 床 利 用 率	%	80.1	80.9	0.8	
患者1人1日 当たり診療収入	入 院	円 17,468	円 17,193	275	101.6
	外 来	円 13,384	円 12,273	1,111	109.1





(2) 医療機器等の整備状況

より高度な治療を行うため、内視鏡システムやリハビリ訓練の効果を確認する運転能力判定用運転適性検査装置等を導入している。

(単位：円)

区分	前年度末現在額	当年度増加額	当年度減少額	当年度末現在額
医療機器	336,132,430	51,276,300	61,527,075	325,881,655
看護用備品	8,685,472		618,845	8,066,627
計	344,817,902	51,276,300	62,145,920	333,948,282

(3) 職員の配置状況

平成19年度末の定数内職員数は238名で、前年度より2名減少(医療技術員2名減、看護職員1名増、運転職員1名減)している。

このほか、定数外職員が3名減少している。

(単位：人、%)

区 分	平成19年度 (A)	平成18年度 (B)	対前年度比較		
			(A)-(B)	(A)/(B)	
職 種 別	医 師	16 ( 2)	16 ( 2)	0 ( 0)	100.0
	医療技術員	46	48	2	95.8
	看護職員	159	158	1	100.6
	事務職員	17	17	0	100.0
	その他職員	0 (24)	1 (27)	1 ( 3)	0.0
計	238 (26)	240 (29)	2 ( 3)	99.2	

( ) は非常勤職員及び臨時的任用職員（職種は医師以外はその他の職員としている）で外数、比率は定数内職員のみでの比較である。

## 2 予算及び決算の状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### ア 収入

事業収益は、予算額37億8,006万円に対し、決算額37億4,678万円（収入率99.1%）で、3,328万円の減少となっている。

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ	備 考
				決算額の増減	
2款 事業収益	円 3,780,055,000	円 3,746,776,526	% 99.1	円 33,278,474	円 1,059,363
1項 医業収益	1,811,225,000	1,778,027,113	98.2	33,197,887	840,059
2項 医業外収益	1,968,830,000	1,968,749,413	99.9	80,587	219,304

#### イ 支出

事業費用は、予算額37億9,276万円に対し、決算額37億6,279万円（執行率99.2%）で、2億9,968万円の不用額となっている。

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額	備 考
				(仮払消費税等)	
2款 事業費用	円 3,792,756,000	円 3,762,787,542	% 99.2	円 29,968,458	円 38,357,700
1項 医業費用	3,481,345,000	3,451,460,415	99.1	29,884,585	38,357,700
2項 医業外費用	311,411,000	311,327,127	99.9	83,873	0

### (2) 資本的収入及び支出

#### ア 収入

資本的収入は計上されていない。

## イ 支出

資本的支出は、予算額4億8,459万円に対し、決算額4億8,040万円(執行率99.1%)で、419万円の不用額となっている。

支出の内訳は、建設改良費6,806万円、企業債償還金4億1,234万円である。

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額	備 考 (仮払消費税等)
2 款 資本的支出	円 484,591,000	円 480,400,921	% 99.1	円 4,190,079	円 3,240,815
1 項 建設改良費	72,247,000	68,057,115	94.2	4,189,885	3,240,815
2 項 企業債償還金	412,344,000	412,343,806	99.9	194	0

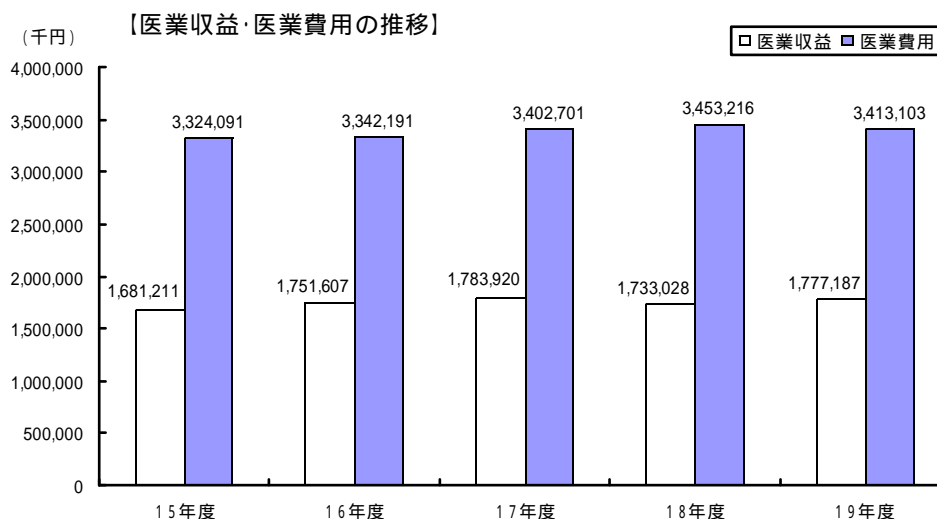
資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億8,040万円は、過年度分損益勘定留保資金4億8,040万円で補てんしている。

## 3 経営成績(損益計算書)

平成19年度の医業収益は17億7,719万円、医業費用は34億1,310万円で、差引き16億3,592万円の医業損失となっている。

医業収益は、入院収益及び外来収益が前年度に比較して、それぞれ1,179万円、2,947万円増加したことから、全体で4,416万円増加している。

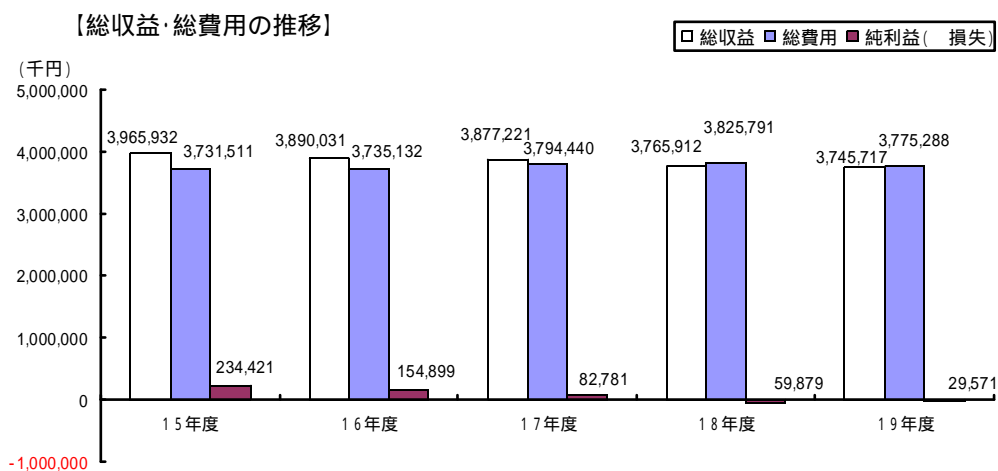
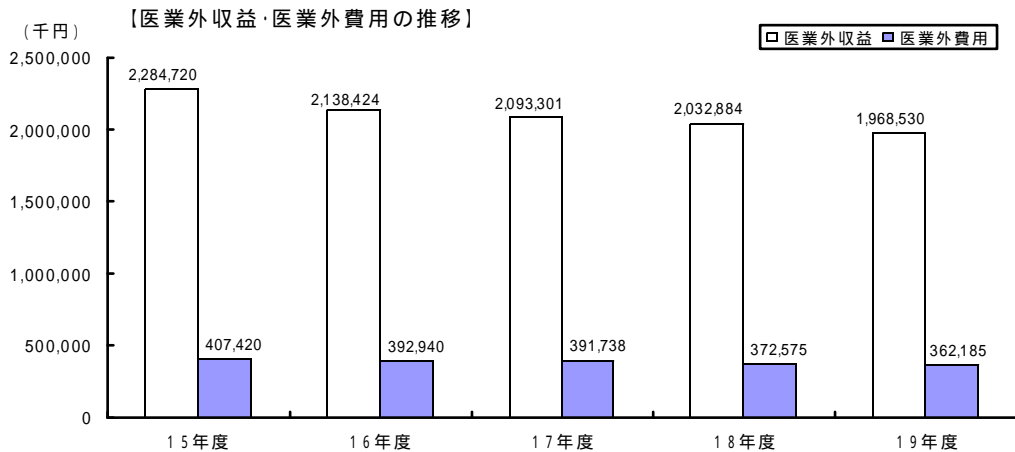
一方、医業費用は医療技術員等の減少や職員給与費の削減等により、前年度と比較して4,011万円の減少となっている。この結果、医業損失は前年度より8,427万円減少している。



医業外収益は、総額19億6,853万円のうち、他会計補助金が18億5,131万円で、前年度に比較して6,362万円減少したことにより、総額で6,435万円減少している。

また、医業外費用は、総額3億6,219万円のうち、企業債利息が3億234万円で、前年度に比較して1,199万円減少したことにより、総額で1,039万円減少している。

このため、損益全体では、前年度5,988万円の純損失が当年度3,031万円減少し2,957万円となっている。



#### 4 剰余金計算書

##### (1) 利益剰余金(欠損金)

平成19年度末処理欠損金は、前年度繰越利益剰余金1,309万円から当年度純損失2,957万円を引いた1,648万円である。

##### (2) 資本剰余金

当年度の資本剰余金は、前年度から繰り越されたその他資本剰余金6億2,846万円(国庫補助金5億2,031万円、宝くじ助成金1億815万円)に受贈財産評価額230万円を加えた6億3,076万円で、全額を翌年度へ繰り越している。

#### 5 欠損金処理計算書

平成19年度末処理欠損金1,648万円は、繰越欠損金として全額を翌年度に繰り越すことにしている。

#### 6 財政状態(貸借対照表)

##### (1) 資産

資産の部の総額は134億7,162万円で、前年度末に比較し、4億7,827万円(3.4%)減少している。これは未収金が4,222万円増加し、流動資産全体が2,907万円増加したものの、減価償却や除却により固定資産が5億734万円減少したことによるものである。

また、未収金の内訳は、医業未収金3億3,460万円（診療報酬請求分等）、医業外未収金1,113万円を合わせて3億4,573万円となっている。未収金の大半を占める医業未収金は前年度と比較して3,155万円（10.4%）増加している。

資産の内訳は、固定資産102億2,212万円、流動資産32億4,950万円である。

#### （2）負債

負債の部の総額は1億4,073万円で、前年度末に比較し3,666万円（20.7%）減少している。

負債の減少は、未払金3,672万円（22.0%）が減少したことによるものである。

負債は、全額が流動負債である。

#### （3）資本

資本の部の総額は133億3,090万円で、前年度末に比較し4億4,161万円（3.2%）の減少となっている。

資本の部の減少は、企業債の償還によって借入資本金が4億1,234万円減少したことによるものである。

資本の内訳は、資本金127億1,662万円、剰余金6億1,428万円である。

#### （4）正味運転資本

平成19年度末の正味運転資本（31億878万円）は、前年度末より6,572万円増加している。

正味運転資本の増加は、資金の源泉となる減価償却費（5億6,959万円）、固定資産除却費（287万円）、受贈財産評価額の増加（30万円）の合計（5億7,276万円）が、資金の運用である企業債償還金（4億1,234万円）、固定資産の増加（6,512万円）、当期純損失（2,957万円）の合計（5億703万円）を上回ったことによるものである。

（単位：円）

運 用		源 泉	
企業債償還金	412,343,806	減価償却費	569,587,287
固定資産の増加	65,116,300	固定資産除却費	2,867,771
当期純損失	29,570,558	受贈財産評価額の増加	300,000
正味運転資本増加額	65,724,394		
合 計	572,755,058	合 計	572,755,058

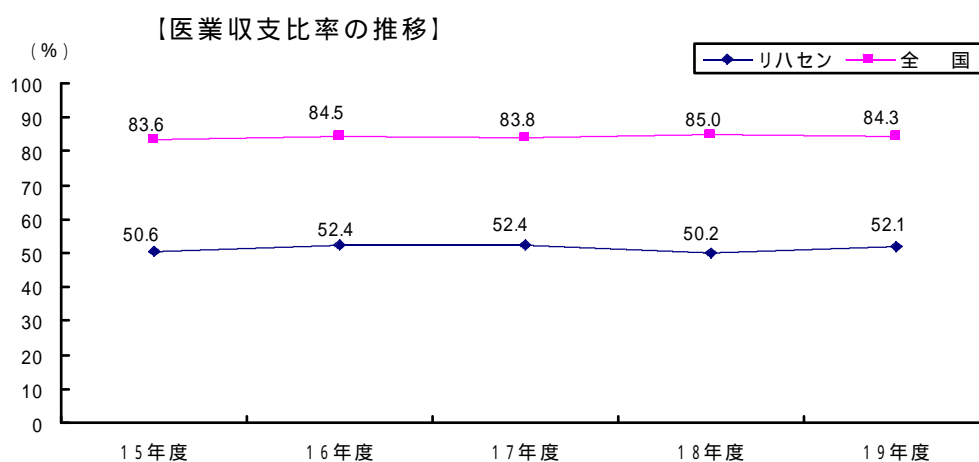
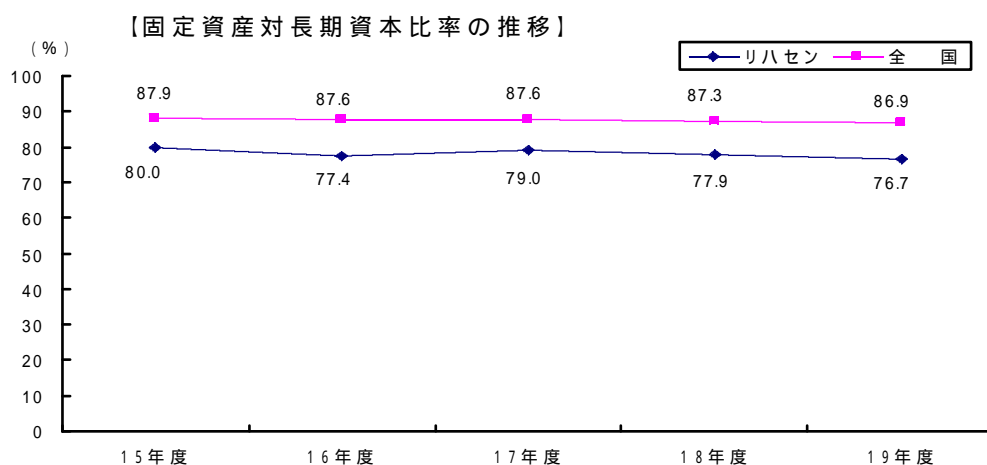
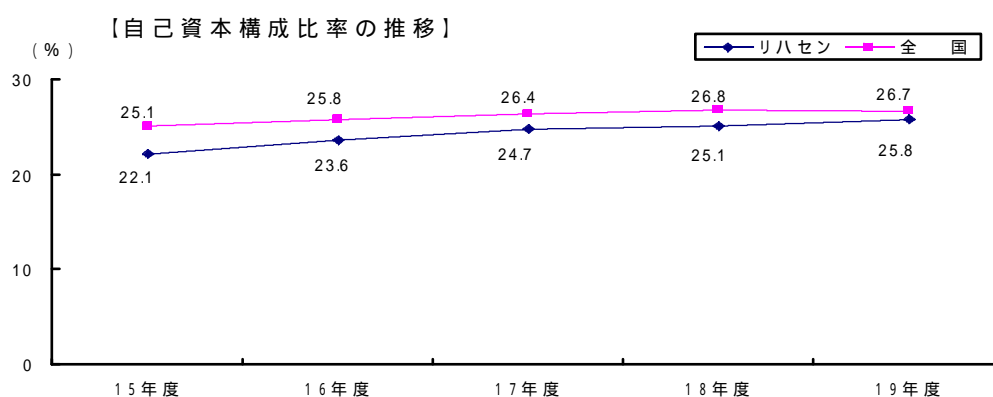
## 7 経営状況の全国比較

経営状況について、全国（『地方公営企業年鑑（平成19年度総務省調査）』の「精神科病院」（ただし、財務関係比率は「都道府県立の全病院」の平均。以下同じ。）と比較すると、次のとおりである。

財政基盤の安定性を示す自己資本構成比率は、全国（26.7%）には及ばないものの年々改善され、前年度を0.7ポイント上回り25.8%となっている。

財政基盤の長期健全性を示す固定資産対長期資本比率は76.7%で、全国の86.9%より良好である。

医業費用に対する医業収益の割合を示す医業収支比率は52.1%で、前年度を1.9ポイント上回った。これは、医業収入が増加したことによるものであるが、全国の84.3%には及ばない。



全国値は、総務省の調査年度（前年度実績）の数値である。



患者数についてみると、医師1人1日当たり患者数は、入院が15.5人、外来が3.0人で、全国に比べ入院で4.0人、外来で5.5人少ない。また、看護職員1人1日当たり患者数は、入院が1.4人、外来が0.3人で、全国に比べ入院、外来とも0.5人少ない。

収入についてみると、患者1人1日当たり診療収入は、入院が17,468円、外来が13,384円で、全国のそれぞれ14,353円、7,674円を上回っている。

一方、職員1人1日当たり診療収入は、医師が311,130円と前年度より8,230円減少し、全国の344,931円を下回っており、看護職員も28,367円と前年度より263円増加したものの、全国の33,500円を下回っている。

費用について患者1人1日当たり薬品費でみると、投薬が1,708円で全国の1,091円を上回り、注薬が59円で、全国の87円を下回っている。これを薬品使用効率でみると、投薬が103.8%に対して全国では120.4%、注薬が84.2%に対して全国では118.6%と、全国をそれぞれ下回っている。

医業収益に対する職員給与費の割合は101.7%で前年度より4.6ポイント減少し、全国の102.4%を下回っている。

検査（外部委託検査を含む。）の状況については、検査技師1人当たりの年間検査件数32,669件、検査収入は11,364千円で、全国の43,564件、15,806千円のそれぞれ75.0%、71.9%となっている。

また、放射線技師1人当たりの年間放射線件数は1,105件、放射線収入は9,715千円で、全国の15,872件、13,366千円のそれぞれ7.0%、72.7%となっている。

稼働病床100床当たり職員数（外部委託の給食部門を除く。）は82.3人で、リハビリ医療部門を有するなどの医業内容等の違いがあり単純に比較はできないものの、全国の57.6人に比べ1.43倍となっている。職種別に全国平均と比較すると医師1.51倍、看護部門1.35倍、薬剤部門1.08倍、事務部門1.67倍、放射線部門8.50倍、臨床検査部門1.43倍となっている。

## 参 考 资 料

# 1 比較損益計算書

リハビリテーション・精神医療センター

区 分 科 目	平成19年度		平成18年度		対前年度比較	
	金 額 (a)	対医療 収益比	金 額 (b)	対医療 収益比	(a)-(b)	(a)-(b) (b)
	円	%	円	%	円	%
1 医 業 収 益 (A)	1,777,187,054	100.0	1,733,027,933	100.0	44,159,121	2.5
(1) 入 院 収 益	1,535,797,341	86.4	1,524,009,702	87.9	11,787,639	0.8
(2) 外 来 収 益	224,575,812	12.6	195,104,973	11.3	29,470,839	15.1
(3) そ の 他 医 業 収 益	16,813,901	0.9	13,913,258	0.8	2,900,643	20.8
2 医 業 費 用 (B)	3,413,102,715	192.1	3,453,215,939	199.3	40,113,224	1.2
(1) 給 与 費	1,896,949,673	106.7	1,936,683,038	111.8	39,733,365	2.1
(2) 材 料 費	247,817,257	13.9	227,289,194	13.1	20,528,063	9.0
(3) 経 費	681,697,477	38.4	680,886,629	39.3	810,848	0.1
(4) 減 価 償 却 費	569,587,287	32.0	576,026,534	33.2	6,439,247	1.1
(5) 資 産 減 耗 費	3,756,939	0.2	19,478,834	1.1	15,721,895	80.7
(6) 研 究 研 修 費	13,294,082	0.7	12,851,710	0.7	442,372	3.4
医療利益(損失)(A)-(B)=(C)	1,635,915,661	92.1	1,720,188,006	99.3	84,272,345	4.9
3 医 業 外 収 益 (D)	1,968,530,109	110.8	2,032,884,229	117.3	64,354,120	3.2
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	13,469,915	0.8	4,230,821	0.2	9,239,094	218.4
(2) 他 会 計 補 助 金	1,851,310,000	104.2	1,914,933,000	110.5	63,623,000	3.3
(3) 負 担 金 及 び 交 付 金	91,557,000	5.2	97,773,986	5.6	6,216,986	6.4
(4) そ の 他 医 業 外 収 益	12,193,194	0.7	15,946,422	0.9	3,753,228	23.5
4 医 業 外 費 用 (E)	362,185,006	20.4	372,574,592	21.5	10,389,586	2.8
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	302,341,278	17.0	314,330,209	18.1	11,988,931	3.8
(2) 雑 支 出	51,774,929	2.9	51,670,020	3.0	104,909	0.2
(3) 雑 損 失	8,068,799	0.5	6,574,363	0.4	1,494,436	22.7
経常利益(損失)(C)+(D)-(E)=(F)	29,570,558	1.7	59,878,369	3.5	30,307,811	50.6
当 年 度 純 利 益 ( 損 失 ) (G)	29,570,558	1.7	59,878,369	3.5	30,307,811	50.6
前年度繰越利益剰余金(欠損金)(H)	13,086,517	0.7	72,964,886	4.2	59,878,369	82.1
当年度末処分利益剰余金(欠損金)	16,484,041	0.9	13,086,517	0.8	29,570,558	226.0
収 益 合 計 (A)+(D)	3,745,717,163	210.8	3,765,912,162	217.3	20,194,999	0.5
費 用 合 計 (B)+(E)	3,775,287,721	212.4	3,825,790,531	220.8	50,502,810	1.3

2 比較貸借対照表

リハビリテーション・精神医療センター

区 分 科 目		平成19年度		平成18年度		対前年度比較	
		金額 (a)	構成比	金額 (b)	構成比	(a)-(b)	$\frac{(a)-(b)}{(b)}$
		円	%	円	%	円	%
資 産	1 固 定 資 産	10,222,118,567	75.9	10,729,457,325	76.9	507,338,758	4.7
	(1)有 形 固 定 資 産	9,719,252,199	72.1	10,226,590,957	73.3	507,338,758	5.0
	ア土 地	1,938,533,643	14.4	1,938,533,643	13.9	0	0.0
	イ建 物	12,543,061,473	93.1	12,542,181,473	89.9	880,000	0.0
	減価償却累計額( )	5,348,607,367	39.7	4,855,597,389	34.8	493,009,978	10.2
	ウ構 築 物	359,021,937	2.7	356,081,937	2.6	2,940,000	0.8
	減価償却累計額( )	157,382,711	1.2	148,000,181	1.1	9,382,530	6.3
	工器 械 ・ 備 品	2,510,484,280	18.6	2,494,432,584	17.9	16,051,696	0.6
	減価償却累計額( )	2,127,113,111	15.8	2,102,295,165	15.1	24,817,946	1.2
	才 車	25,081,100	0.2	25,081,100	0.2	0	0.0
	減価償却累計額( )	23,827,045	0.2	23,827,045	0.2	0	0.0
	力建 設 仮 勘 定	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(2)無 形 固 定 資 産	3,116,368	0.0	3,116,368	0.0	0	0.0
	ア電 話 加 入 権	3,116,368	0.0	3,116,368	0.0	0	0.0
	(3)無 形 固 定 資 産	499,750,000	3.7	499,750,000	3.6	0	0.0
	ア電 話 加 入 権	499,750,000	3.7	499,750,000	3.6	0	0.0
	の 部	2 流 動 資 産	3,249,503,059	24.1	3,220,434,447	23.1	29,068,612
(1)現 金 ・ 預 金		2,884,630,947	21.4	2,898,259,772	20.8	13,628,825	0.5
(2)未 収 金		345,734,910	2.6	303,519,639	2.2	42,215,271	13.9
ア医 業 未 収 金		334,603,659	2.5	303,049,766	2.2	31,553,893	10.4
イ医 業 外 未 収 金		11,131,251	0.1	424,000	0.0	10,707,251	2525.3
ウそ の 他 未 収 金		0	0.0	45,873	0.0	45,873	皆減
(3)貯 蔵 品		19,137,202	0.1	18,655,036	0.1	482,166	2.6
ア薬 品		15,159,077	0.1	18,463,634	0.1	3,304,557	17.9
イ診 療 材 料		3,978,125	0.0	191,402	0.0	3,786,723	1978.4
(4)そ の 他 流 動 資 産		0	0.0	0	0.0	0	0.0
資 産 合 計	13,471,621,626	100.0	13,949,891,772	100.0	478,270,146	3.4	
負 債 の 部	3 流 動 負 債	140,726,200	1.0	177,381,982	1.3	36,655,782	20.7
	(1)未 払 金	130,069,934	1.0	166,788,072	1.2	36,718,138	22.0
	ア医 業 未 払 金	129,527,084	1.0	164,687,820	1.2	35,160,736	21.3
	イそ の 他 未 払 金	542,850	0.0	2,100,252	0.0	1,557,402	74.2
	(2)未 払 費 用	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	(3)そ の 他 流 動 負 債	10,656,266	0.1	10,593,910	0.1	62,356	0.6
	ア預 り 金	10,656,266	0.1	10,593,910	0.1	62,356	0.6
イ前 受 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
負 債 合 計	140,726,200	1.0	177,381,982	1.3	36,655,782	20.7	
資 本 の 部	4 資 本 金	12,716,618,467	94.4	13,128,962,273	94.1	412,343,806	3.1
	(1)自 己 資 本 金	2,861,455,503	21.2	2,861,455,503	20.5	0	0.0
	(2)借 入 資 本 金	9,855,162,964	73.2	10,267,506,770	73.6	412,343,806	4.0
	ア企 業 債	9,855,162,964	73.2	10,267,506,770	73.6	412,343,806	4.0
	5 剰 余 金	614,276,959	4.6	643,547,517	4.6	29,270,558	4.5
	(1)資 本 剰 余 金	630,761,000	4.7	630,461,000	4.5	300,000	0.0
	ア受 贈 財 産 評 価 額	2,300,000	0.0	2,000,000	0.0	300,000	15.0
	イ他 会 計 補 助 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	ウ寄 附 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	エそ の 他 資 本 剰 余 金	628,461,000	4.7	628,461,000	4.5	0	0.0
(2)剰 益 剰 余 金 ( 欠 損 金 )	16,484,041	0.1	13,086,517	0.1	29,570,558	226.0	
ア繰 越 利 益 剰 余 金 ( 繰 越 欠 損 金 )	13,086,517	0.1	72,964,886	0.5	59,878,369	82.1	
イ当 年 度 純 利 益 ( 純 損 失 )	29,570,558	0.2	59,878,369	0.4	30,307,811	50.6	
資 本 合 計	13,330,895,426	99.0	13,772,509,790	98.7	441,614,364	3.2	
負 債 資 本 合 計	13,471,621,626	100.0	13,949,891,772	100.0	478,270,146	3.4	

3 経営分析表

リハビリテーション・精神医療センター

項 目	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	全国平均	算 式 等	
自己資本構成比率	%	24.7	25.1	25.8	26.7	(自己資本金+剰余金)÷総資本×100	
固定資産対長期資本比率	%	79.0	77.9	76.7	86.9	固定資産÷(資本金+剰余金+固定負債)×100	
流動比率	%	1,739.6	1,815.5	2,309.1	215.7	流動資産÷流動負債×100	
減価償却率	%	5.7	6.1	6.4	5.2	減価償却費÷(固定資産-土地+減価償却費)×100	
未収金回転率	回	5.9	5.7	5.5	5.8	医業収益÷((期首未収金+期末未収金)÷2)	
医業収支比率	%	52.4	50.2	52.1	84.3	医業収益÷医業費用×100	
利子負担率	%	3.1	3.1	3.1	2.6	支払利息及び企業債取扱諸費÷企業債×100	
病 床 数	床	300	300	300			
職 員 数	人	231	233	236			
診 療 日 数	入 院 日	365	365	366			
	外 来 日	244	245	245			
患 者 数	年延入院 人	87,424	88,640	87,922			
	年延外来 人	16,133	15,897	16,779			
	合 計 人	103,557	104,537	104,701			
病 床 利 用 率	%	79.8	80.9	80.1	76.0	年延入院患者数÷年延病床数×100	
患 者 数	1日平均患者数	入 院 人	239.5	242.8	240.2	219.0	年延入院患者数÷入院診療日数
		外 来 人	66.1	64.9	68.5	134.0	年延外来患者数÷外来診療日数
	外 来 入 院 患 者 比 率	%	18.5	17.9	19.1	43.3	年延外来患者数÷年延入院患者数×100
	医師1人1日当たり患者数	入 院 人	17.7	16.5	15.5	19.5	年延入院患者数÷年延医師数
看護部門1人1日当たり患者数	外 来 人	3.3	3.0	3.0	8.5	年延外来患者数÷年延医師数	
	入 院 人	1.4	1.4	1.4	1.9	年延入院患者数÷年延看護部門職員数	
外 来 人	外 来 人	0.3	0.3	0.3	0.8	年延外来患者数÷年延看護部門職員数	
	計	円	17,997	17,193	17,468	14,353	入院収益÷年延入院患者数
患者1人1日当たり診療収入	外 来 人	円	12,092	12,273	13,384	7,674	外来収益÷年延外来患者数
	計	円	17,077	16,445	16,813	12,333	入院・外来収益÷年延入院・外来患者数
職員1人1日当たり診療収入	医 師 円	358,857	319,360	311,130	344,931	入院・外来収益÷年延医師数	
	看 護 円	29,319	28,104	28,367	33,500	入院・外来収益÷年延看護部門職員数	
費 用	患者1人1日当たり薬品費	投 薬 円	1,514	1,416	1,708	1,091	投薬薬品費÷年延入院・外来患者数
		注 薬 円	91	113	59	87	注薬薬品費÷年延入院・外来患者数
	計	円	1,605	1,529	1,767	1,177	投薬・注薬薬品費÷年延入院・外来患者数
入院患者1人1日当たり給食材料費	円	687	669	686	571	患者用給食材料費÷年延入院患者数	
薬 品 使 用 効 率	投 薬 %	投 薬 %	105.2	114.1	103.8	120.4	投薬薬品収入÷投薬用薬品費×100
		注 薬 %	79.6	85.8	84.2	118.6	注薬薬品収入÷注薬用薬品費×100
	計 %	103.7	112.0	103.2	120.2	投薬・注薬薬品収入÷投薬・注薬薬品費×100	
診療報酬に対する割合	投 薬 注 薬 収 入 %	9.8	10.4	10.8	11.5	投薬・注薬薬品収入÷入院・外来収益×100	
	検 査 収 入 %	2.3	2.4	1.9	2.0	検査収入÷入院・外来収益×100	
	放 射 線 収 入 %	3.0	2.9	2.8	0.7	放射線収入÷入院・外来収益×100	
医業収益に対する割合	薬 品 費 %	9.3	9.2	10.4	9.0	薬品費÷医業収益×100	
	そ の 他 医 業 材 料 費 %	3.7	3.9	3.5	1.4	その他医療材料費÷医業収益×100	
	職 員 給 与 費 %	100.6	106.3	101.7	102.4	職員給与費÷医業収益×100	
検 査 の 状 況	患者100人当たり検査件数	件	83.1	92.5	93.6	67.1	年間検査件数÷年延入院・外来患者数×100
	患者100人当たり放射線件数	件	5.2	5.1	5.3	10.0	年間放射線件数÷年延入院・外来患者数×100
	検査技師1人当たり検査件数	件	28,696	32,243	32,669	43,564	年間検査件数÷年度末検査技師数
	検査技師1人当たり検査収入	千円	13,610	13,951	11,364	15,806	検査収入÷年度末検査技師数
	放射線技師1人当たり放射線件数	件	1,081	1,076	1,105	15,872	年間放射線件数÷年度末放射線技師数
放射線技師1人当たり放射線収入	千円	10,624	10,113	9,715	13,366	放射線収入÷年度末放射線技師数	
稼働病床100床当たり職員数	医 師 人	4.7	5.3	5.3	3.5	年度末(各種)職員数÷年度末病床数×100	
	看 護 部 門 人	53.3	52.3	52.7	38.9		
	薬 剤 部 門 人	1.3	1.3	1.3	1.2		
	事 務 部 門 人	9.0	8.0	7.7	4.6		
	給 食 部 門 人	0.7	0.7	0.7	3.4		
	放 射 線 部 門 人	1.7	1.7	1.7	0.2		
	臨 床 検 査 部 門 人	1.0	1.0	1.0	0.7		
そ の 他 人	11.0	12.7	12.0	5.2			
全 職 員 人	82.7	83.0	82.3	57.6			
1床当たり償却資産	千円	29,356	27,627	25,936	10,379	(償却資産(建物・器械)-減価償却累計額)÷病床数	

・全国平均は、地方公営企業年鑑(平成19年度総務省調査)の「精神科病院」の平成18年度実績である。ただし、財務関係比率は、同「都道府県立の全病院」の比率を採用している。

・総資本=負債+資本